

登録No	長さ cm	巾 cm	厚さ cm	長さ 巾	備考
83	0.50	0.30	0.29	1.67	火眼れ
84	0.57	0.35	0.34	1.63	"
85	0.53	0.37	0.34	1.43	亀裂
86	0.54	0.32	0.37	1.69	"
87	0.56	0.31	0.28	1.81	"
88	0.55	0.31	0.33	1.78	亀裂
89	0.54	0.32	0.33	1.69	"
90	0.52	0.36	0.33	1.44	" 虫喰痕
91	0.50	0.35	0.33	1.43	"
92	0.52	0.34	0.32	1.53	"
93	0.50	0.36	0.38	1.39	"
94	0.49	0.32	0.34	1.53	"
95	0.47	0.35	0.34	1.34	亀裂
96	0.51	0.33	0.33	1.55	"
97	0.46	0.33	0.35	1.39	"
98	0.50	0.32	0.36	1.56	"
99	0.50	0.30	0.30	1.67	亀裂
100	0.48	0.33	0.36	1.52	"
101	0.50	0.34	0.33	1.47	"
102	0.45	0.37	0.32	1.22	"
103	0.46	0.32	0.34	1.44	亀裂
104	0.46	0.33	0.33	1.39	"
105	0.48	0.34	0.33	1.41	"
106	0.49	0.33	0.32	1.48	亀裂
107	0.46	0.35	0.36	1.31	"
108	0.51	0.34	0.34	1.50	"
109	0.42	0.34	0.35	1.24	"
110	0.46	0.33	0.33	1.39	"
111	0.47	0.31	0.27	1.52	"
112	0.50	0.29	0.28	1.72	亀裂
113	0.41	0.29	0.29	1.41	"
114	0.50	0.31	0.32	1.61	"
115	0.46	0.31	0.31	1.48	亀裂
116	0.52	0.34	0.29	1.53	"
117	0.47	0.31	0.32	1.52	"
118	0.42	0.31	0.32	1.35	"
119	0.47	0.35	0.34	1.34	亀裂
120	0.47	0.32	0.31	1.47	"
121	0.43	9.33	0.33	1.30	亀裂
122	0.48	0.34	0.32	1.40	"
123	0.46	0.29	0.29	1.59	"
124	0.47	0.30	0.31	1.57	"
125	0.47	0.29	0.27	1.62	"
126	0.43	0.27	0.28	1.59	亀裂
127	0.46	0.33	0.30	1.39	"
128	0.46	0.32	0.29	1.44	"
129	0.45	0.27	0.28	1.67	"
130	0.42	0.26	0.24	1.62	"
130	0.42	0.26	0.24	1.62	"
131	0.37	0.26	0.29	1.42	亀裂
132	0.36	0.28	0.27	1.44	"
143	0.46	0.28	0.32	1.74	"
144	0.41	0.35	0.33	1.41	"
					以上1号建物
94	0.65	0.41	0.42	1.59	火眼れ
95	0.63	0.36	0.37	1.75	"
96	0.57	0.34	0.36	1.68	"
97	0.56	0.35	0.35	1.60	"
98	0.48	0.31	0.32	1.55	"
99	0.48	0.29	0.28	1.66	"
100	0.47	0.29	0.27	1.62	"
101	0.42	0.28	0.28	1.50	"
102	0.43	0.29	0.30	1.48	"
					以上2号建物跡
33	0.36	0.30	0.28	1.20	以上3号建物跡

葛の実 計測表

133	(0.75)	(0.68)	(0.60)	—	火眼れ、虫喰痕、1部欠損
134	0.76	0.54	0.46	1.41	"
135	0.65	0.52	0.36	1.25	"
136	0.67	0.49	0.32	1.37	"
137	0.60	0.47	0.45	1.28	"
138	0.73	0.52	0.56	1.40	亀裂
139	0.63	0.44	0.34	1.43	"
140	0.55	0.46	0.55	1.19	"
141	0.66	(0.50)	0.49	—	1部欠損
142	0.66	0.52	0.45	1.27	"
145	0.63	0.38	0.35	1.63	"
					以上1号建物跡

登録No	長さ cm	巾 cm	厚さ cm	長さ 巾	備考
103	0.72	0.56	—	1.29	1部欠損
104	0.54	0.40	0.34	1.35	"
105	(0.64)	0.47	(0.34)	—	火眼れ、1部欠損
					以上2号建物跡
34	0.64	0.46	0.36	1.37	火眼れ
35	0.65	0.52	0.33	1.25	"
36	0.64	0.43	0.32	1.49	火眼れ
37	0.68	0.47	0.37	1.45	" 虫喰痕
38	0.74	0.47	0.38	1.57	"
39	0.76	0.53	0.36	1.43	"
40	0.81	0.45	0.40	1.80	"
41	0.72	0.50	0.43	1.44	"
42	0.86	0.46	0.32	1.87	"
43	0.79	0.51	0.50	1.55	火眼れ、虫喰痕
44	0.81	0.50	0.33	1.62	"
45	0.75	0.52	0.41	1.44	"
46	0.73	0.49	0.40	1.49	"
47	0.77	0.47	0.36	1.64	"
48	0.76	0.53	0.44	1.44	"
49	0.71	0.57	0.36	1.25	"
50	0.76	0.54	0.41	1.41	"
51	0.73	0.49	—	1.49	1部欠損
52	0.75	0.48	0.43	1.56	"
53	0.71	0.49	0.38	1.47	"
54	0.71	0.45	0.44	1.58	虫喰痕
55	0.62	0.52	0.34	1.19	" 1部欠損
56	0.72	0.45	—	1.60	" 1部欠損
57	0.58	0.48	0.42	1.20	"
58	0.75	0.50	0.38	1.50	"
59	0.65	0.44	—	1.48	1部欠損
60	0.61	0.53	0.36	1.15	"
61	0.70	0.43	0.38	1.63	"
62	0.70	0.38	—	1.89	1部欠損
63	0.60	0.45	0.35	1.33	"
64	0.78	0.57	0.47	1.37	"
65	(0.77)	(0.50)	(0.46)	—	表皮剥離
66	0.71	0.52	0.40	1.54	火眼れ
67	0.66	0.44	0.38	1.50	"
68	0.63	0.49	0.42	1.28	"
69	0.67	0.49	0.43	1.37	1部欠損
70	0.59	0.37	0.29	1.59	"
71	0.66	0.44	0.57	1.50	"
72	0.59	0.47	0.32	1.26	"
73	0.60	0.43	0.35	1.37	"
74	0.65	0.49	0.34	1.33	"
75	0.63	0.54	(0.35)	1.17	1部欠損
76	0.61	0.48	0.41	1.27	火眼れ
					以上3号建物跡
4	0.42	0.36	—	1.17	1部欠損
5	(0.40)	0.35	—	—	1部欠損
6	(0.30)	0.28	—	—	1部欠損
					以上4号建物跡

植物種子 計測表

106他	0 15~0. 10	0 15~0. 10	0 15~0. 10	—	
11	0.28	0.11	0.05	2.55	イヌガラシ
12	0.27	0.09	0.04	3.00	以上2号建物跡
7	0.35	0.20	0.21	1.75	スズメノカタビラ
8	0.26	0.20	0.16	1.30	4号建物跡
9	0.25	0.21	0.11	1.19	ミゾソバ
10	0.24	0.20	0.11	1.20	4号建物跡
13	0.55	0.34	0.13	1.62	スズメノヒエ
14	0.60	0.21	0.12	2.85	タガラシ
15	0.25	0.22	—	1.14	4号建物跡
16	0.20	0.18	—	1.11	4号建物跡
17	0.25	0.10	0.07	2.50	ミミナグサ
	0.23	0.13	0.08	1.77	4号建物跡
18	0.16	0.07	0.04	2.29	メヒシバ
	0.14	0.06	0.04	2.33	4号建物跡
					スイバ

V まとめ

- 発見された遺構・遺物は、ろくろ使用以前の甕形・杯形土器を伴う焼土遺構2基と、中世の館跡に伴うと思われる柱穴群、半地下式建物跡4棟、土塁跡である。
- 焼土遺構は、ろくろ使用以前の土師器を伴出しており、熊堂古墳群との関連も考え得る。
- 表土等から出土した甕形土器に頸部有段で、長胴のものと球胴のものがあり、長胴のものは体壁の内外が刷毛目調整されたものが多く、1部磨きのあるものもみられる。球胴のものは、体壁の内面は刷毛目、外面は磨き調整され、外面は円塗のものもみられる。杯形土器は、有段丸底のものが多く、内黒処理をしたものと、しないものがみられる。これらは、焼土遺構から伴出した遺物と同時期と思われ、西側路線外からも発見（第5図13、図版5—13）されている。
- 甕形土器と杯形土器の中で、ろくろ使用のものが若干みられ、甕は、篋削り篋などで調整が体部に施され、杯は、内黒処理のものに手持ち篋削り調整のものがみられるが、非内黒のものは無調整のものが大部分である。中に1点、内面に墨と朱で、円筒状の絵らしきものを画いたものがあつた。（図版7—37）。これらは平安時代の遺物と思われる。
- 館跡に伴うと思われる柱穴群は、南縁西側に集中し、掘立柱建物跡と思われる。
- 半地下式建物跡4棟は、柱穴群の北側にあり、住居跡とも倉庫跡とも推定されているが、いずれとも断定する資料はない。火脹れした炭化穀物が出土した事から火災にあつたのではないかと思われるが、明確ではない。中世陶器類等は発見されなかつた。
- 土塁は、北側にのみ確認され、東側、南側には確認されなかつたが、いずれも比高約2mの段丘崖で、土塁があつたのではないかと思われる。

本調査地区は、根子氏の居城「中館」の東端部といわれるが、東縁段丘崖の東側は、南北に細長く延びる帯状の低地で、空堀と思われ、巾10～15m、長さ約100mで、現在水田となつており、その東側は水田より約1mほど高くなり、地藏堂とその境内と宅地に若干の畑地で、ここが館の東端部とも考えられるが、明確ではない。「埋蔵文化財地図、作製のための現地調査記録カードに依れば、^(注3)「周溝をもち土塁によって三つに区分されており、東西250m、南北130mの柵地形式の館である」とあり、東側の地藏堂付近は入れてないようである。

注1) 日本城郭大系2 創史社 1980 P274

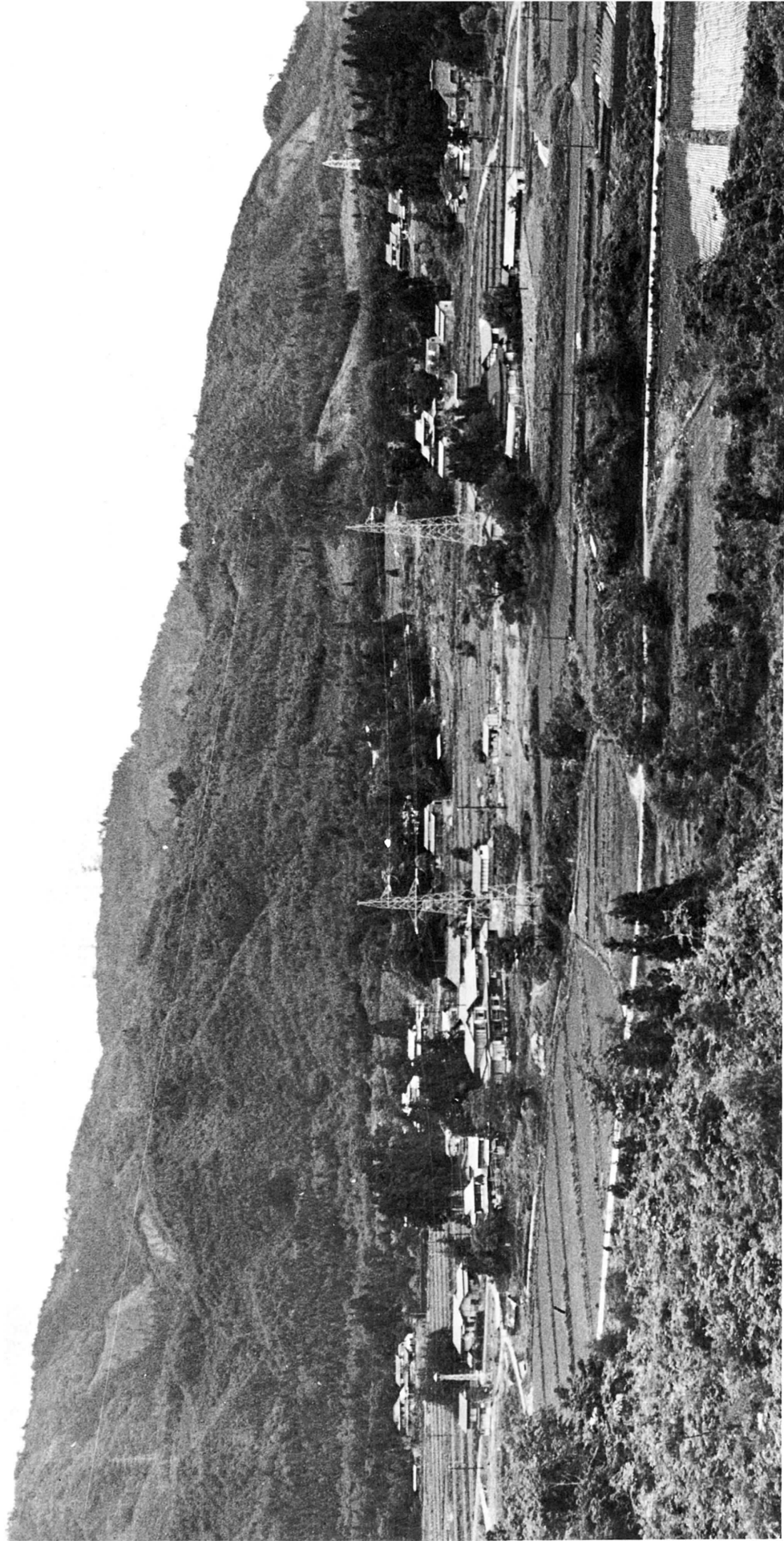
注2) 埋蔵文化財地図 岩手県教育委員会 1974

注3) 岩手県教育委員会 昭年42年12月9日調査

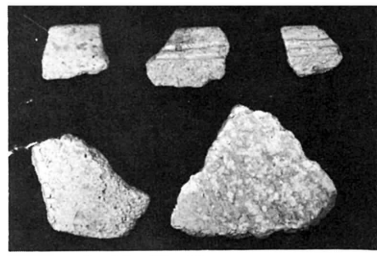
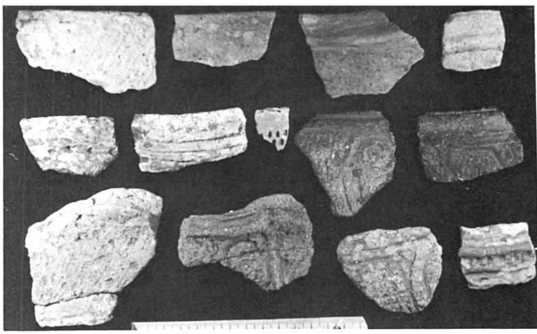
注4) 岩手県文化財審議委員、村井三郎氏に依る。

写 真 图 版

(1) 大 地 渡 遺 跡



図版 1 遺跡遠景 (南方よりのぞむ)

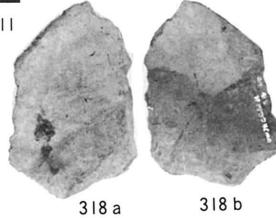
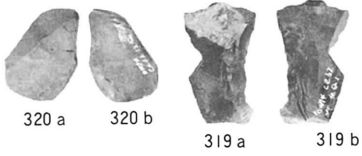


上 34、32、33
下 35、36



12

上5、6、9、7 中31、8、16、4、3 下1、2、10、11



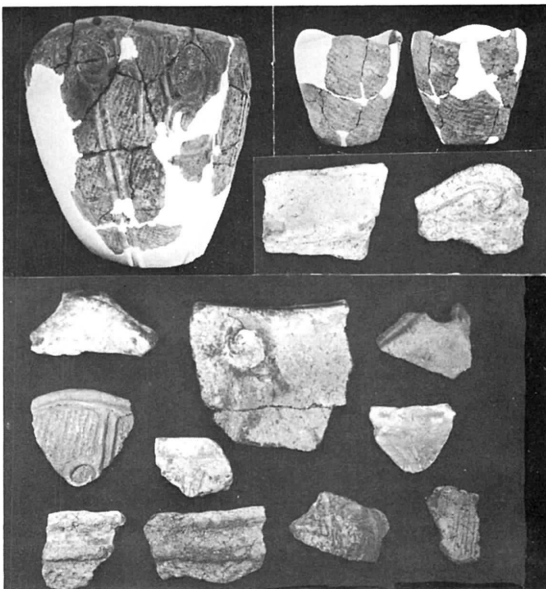
Ce62遺構



全 景 (北から)

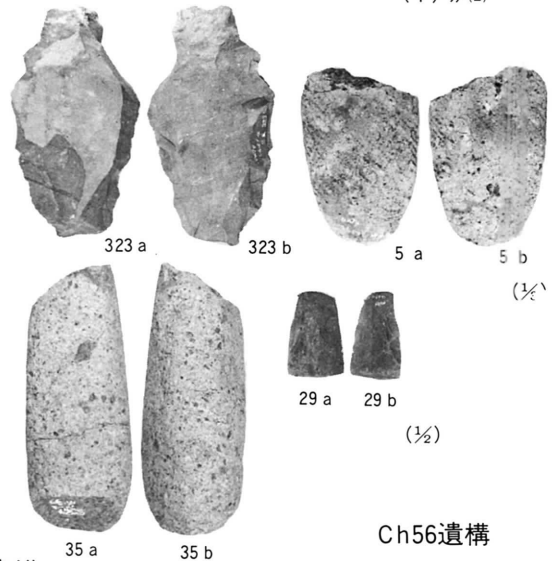


(上) 炉(1)
(下) 炉(2)



上 4 a、3、4 b
中 8、7、
下 •、•、9、•

2、1 a、1 b
6 5



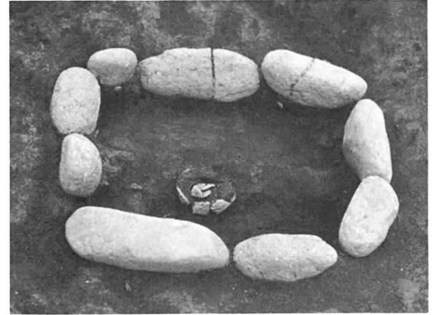
Ch56遺構

図版 2 Ce62遺構・Ch56遺構

全 景
(西から)



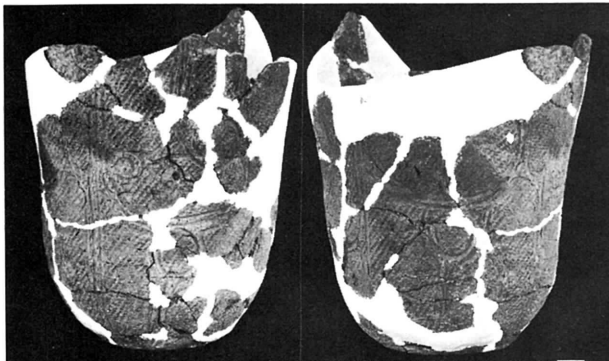
埋設土器



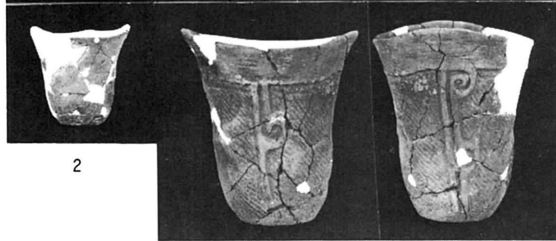
炉 細 部



土器出土状況



3 a 3 b



2

1 a

1 b



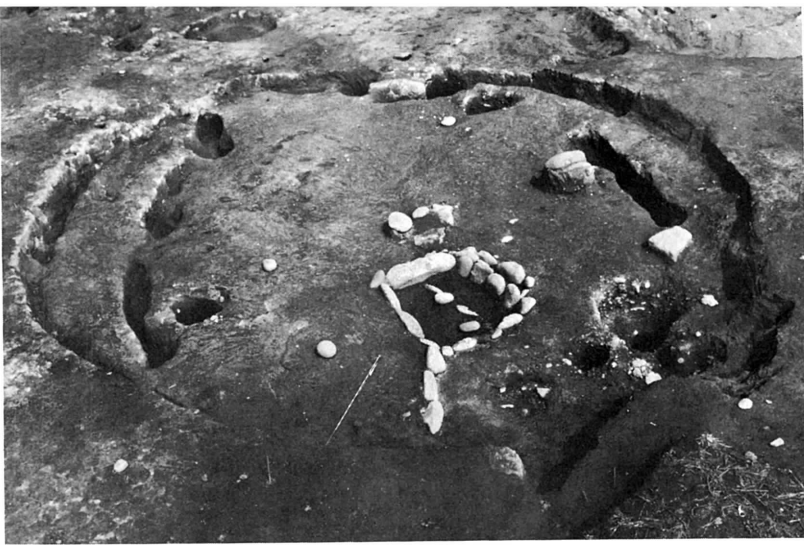
324



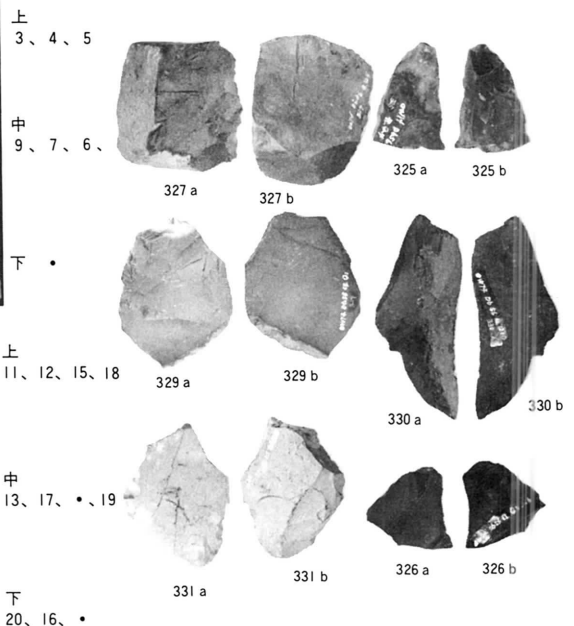
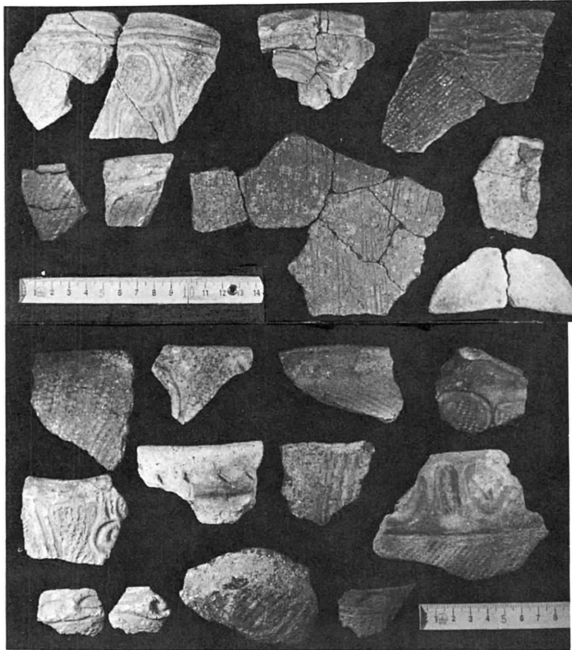
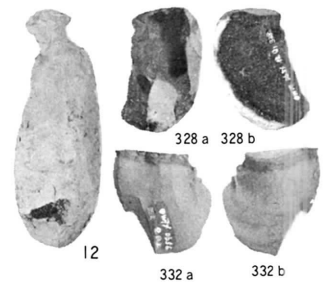
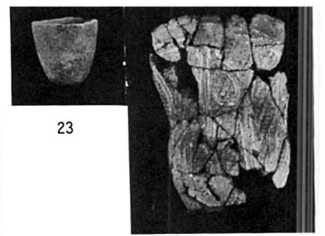
上 5、15、19、20、11
22、12 11
14、14 11、11

下 9、•、•、6
8、4、7

図版 3 Ci68住居跡



全 景 (北から)

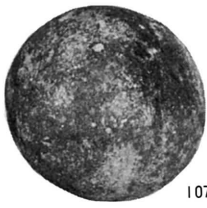


Db59住居跡



炉 細 部

Dco 3 遺構

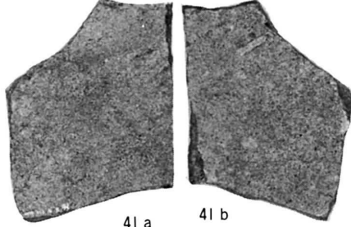


107



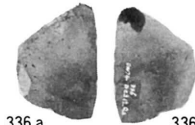
40 a

40 b



41 a

41 b

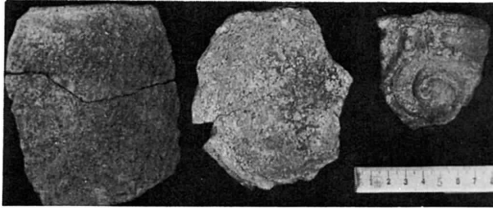


336 a

336 b

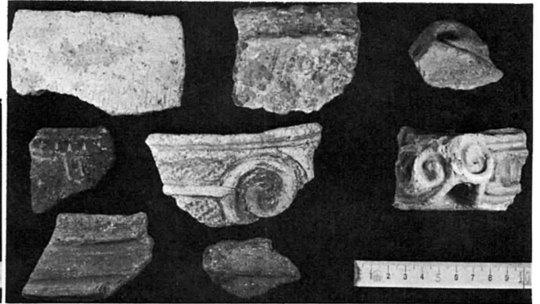


手前 De06遺構

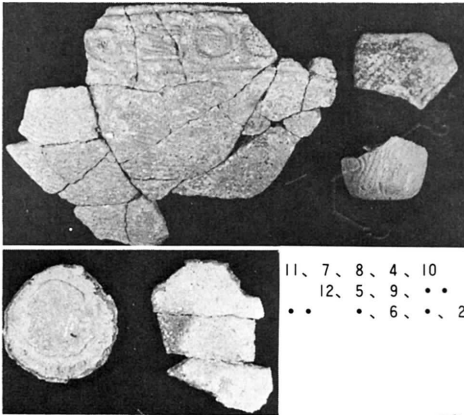


4、 \cdot 、 \cdot 、 \cdot

De03遺構



8、7、11
 \cdot 、10、 \cdot
 \cdot 、 \cdot



11、7、8、4、10
12、5、9、 \cdot 、 \cdot
 \cdot 、6、 \cdot 、 \cdot 、2



333 a

333 b



335 a

335 b



31 a



31 b



334 a

334 b



30 a



30 b

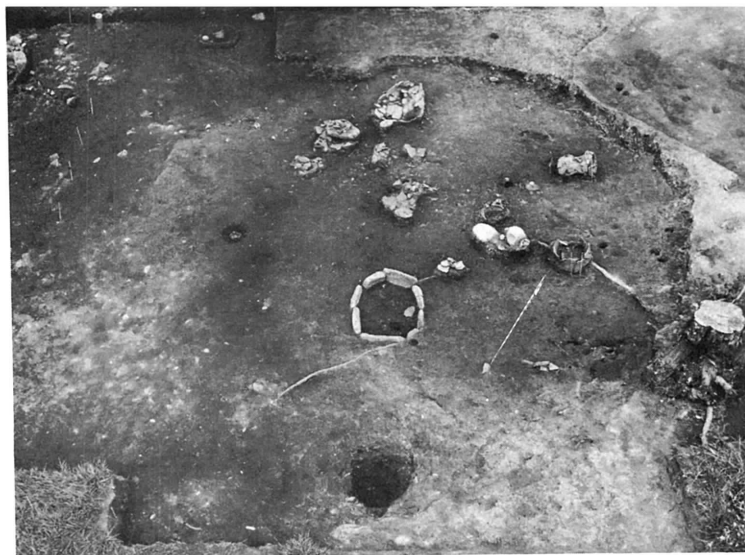
De06遺構



床面



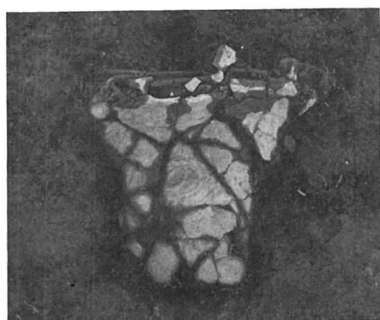
床面



全 景 (南から)



8

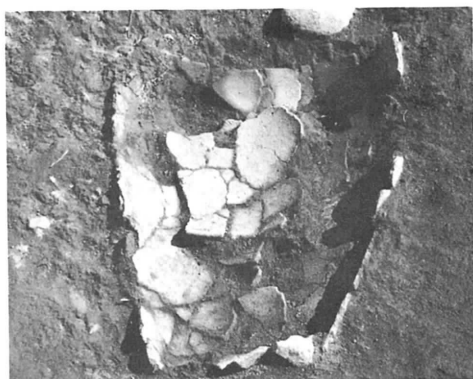


2

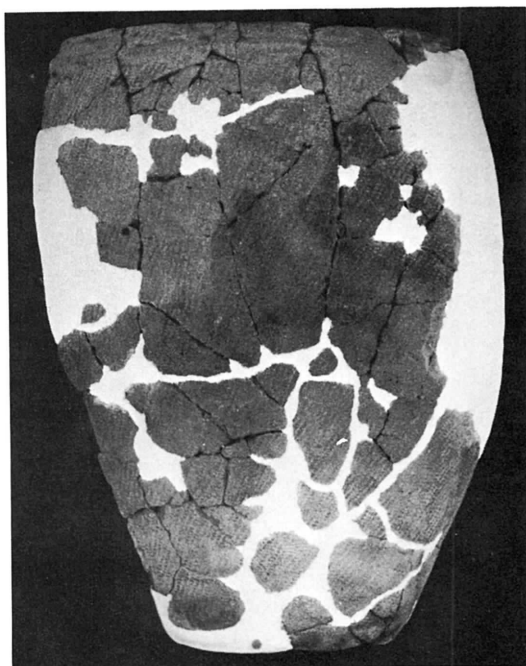


炉細部と
遺物出土状況

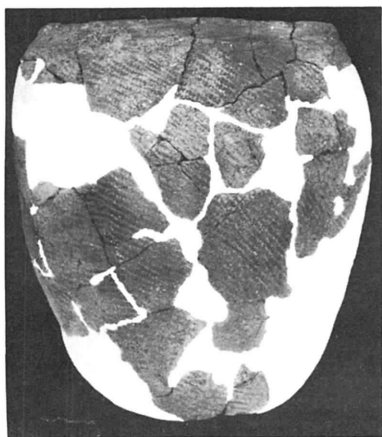
3



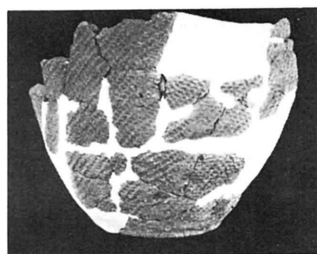
1



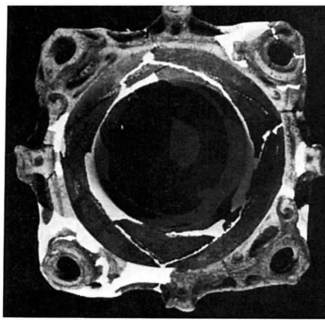
1



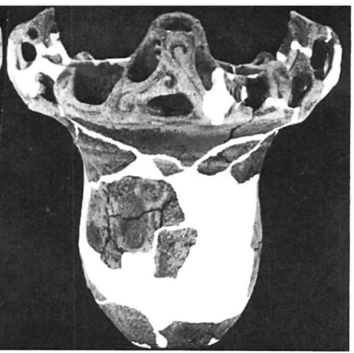
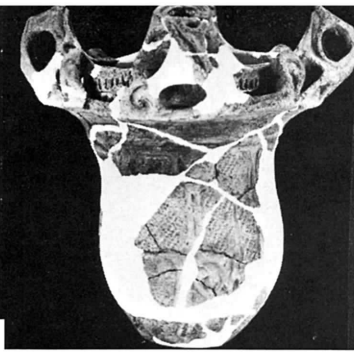
50



図版 6 Df09住居跡(1)



3 a、3 b、3 c



13



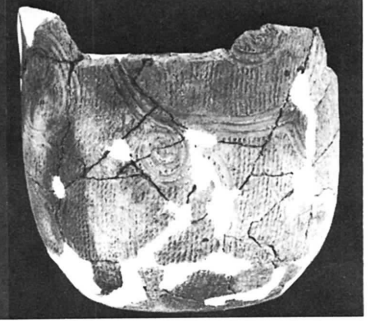
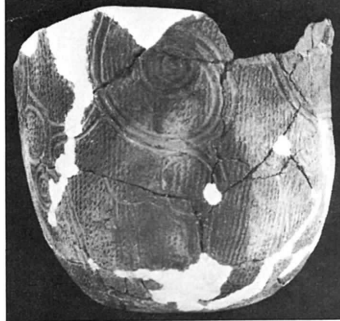
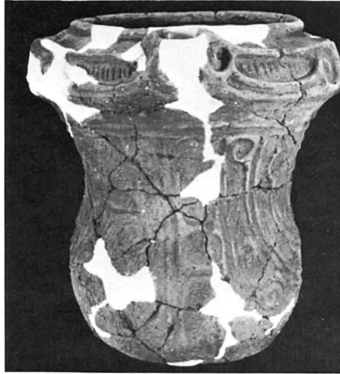
4



54 a

54 b

2 a、2 b



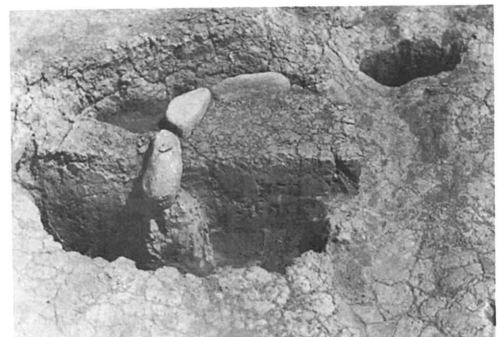
8 a、8 b

出土遺物

Df09住居跡(2)



全 景



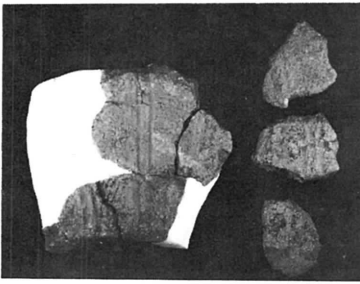
炉細部



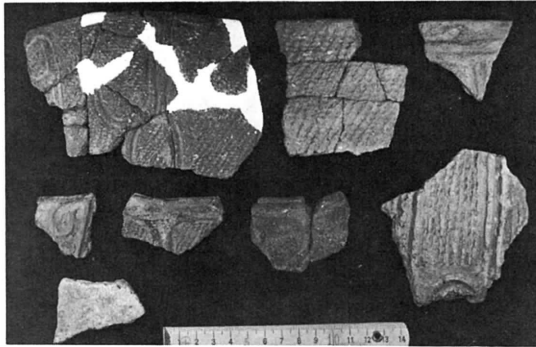
全 景 (南から)



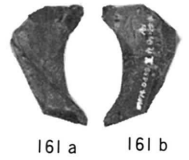
炉 細 部



6 8
8
•



2、1、11
4、3、12、10
•



161 a 161 b

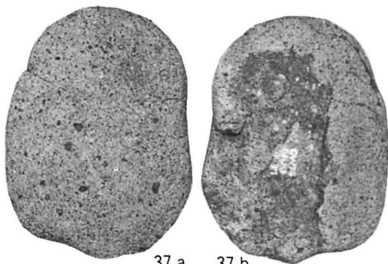


8 a

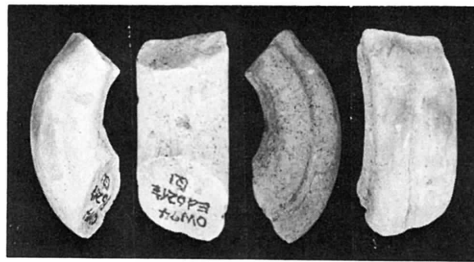


8 b

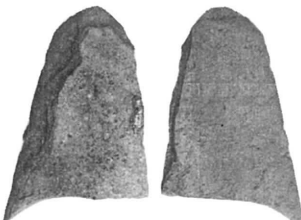
Df 53住居跡



37 a 37 b

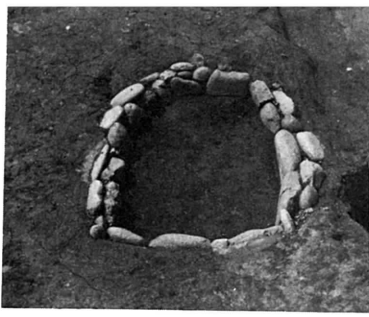


1 a 1 c 1 b 1 d

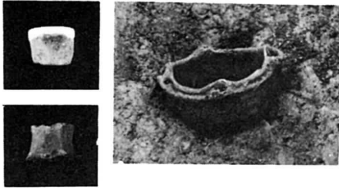


23 a 23 b

図版 8 Df 53住居跡・Ed62住居跡(2)



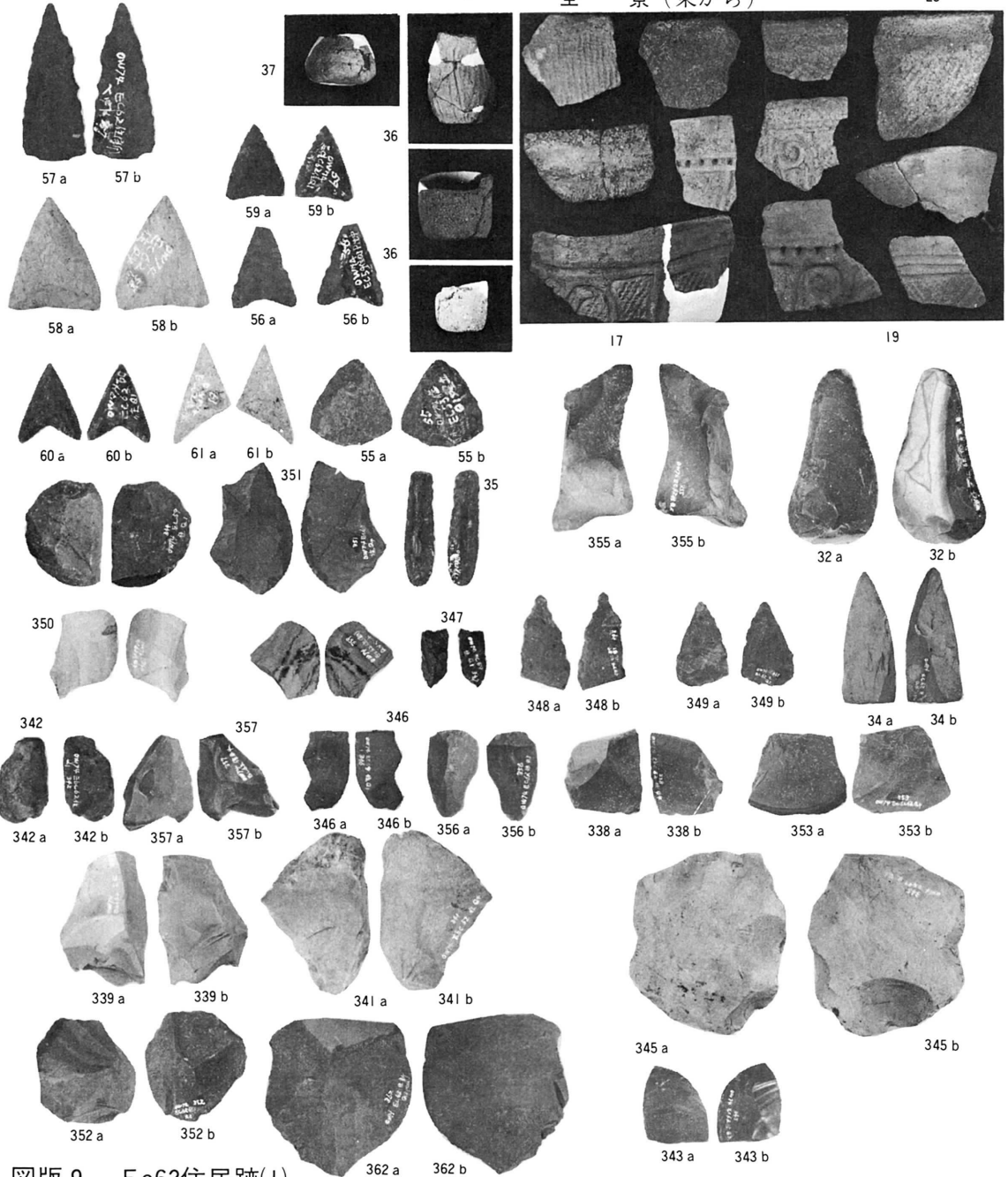
炉 細 部



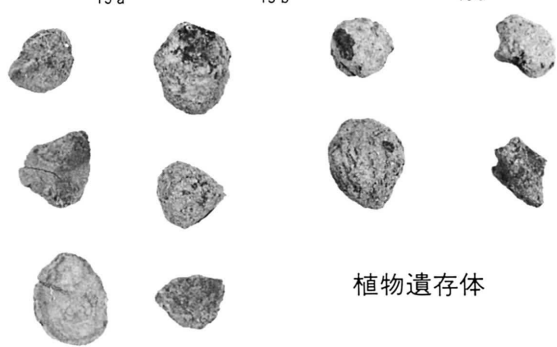
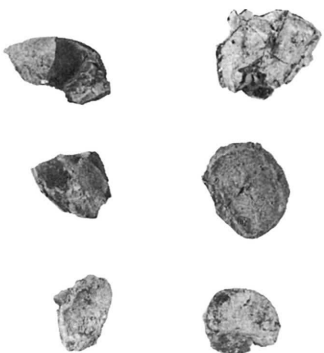
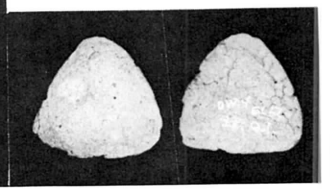
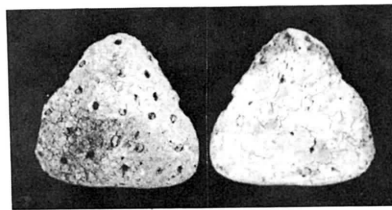
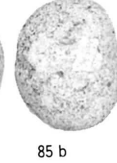
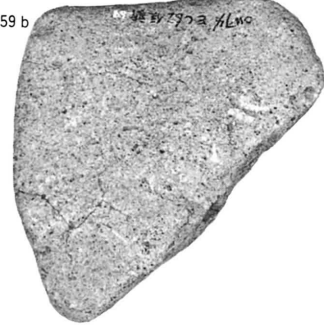
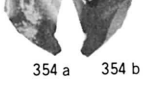
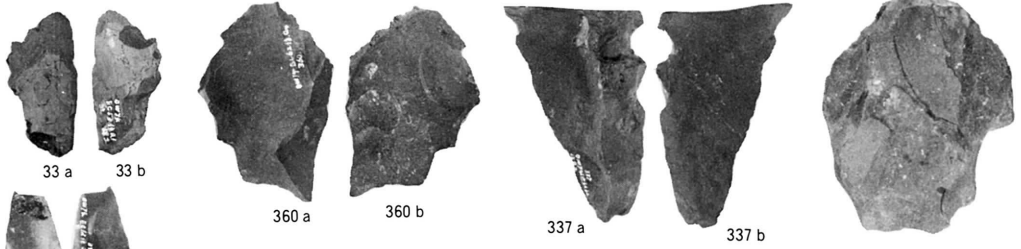
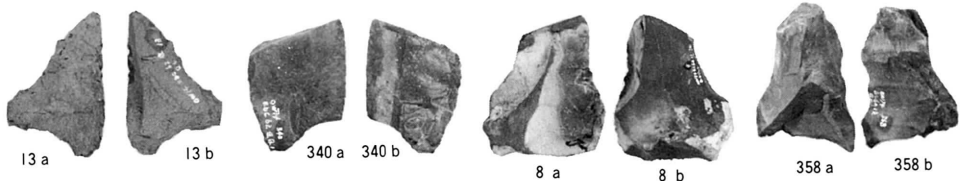
25

全 景 (東から)

23

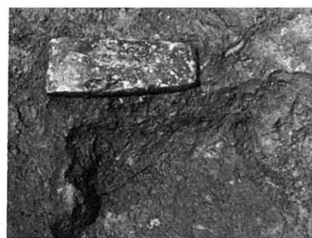


図版 9 Ec62住居跡(1)



植物遺存体

図版10 Ec62住居跡(2)

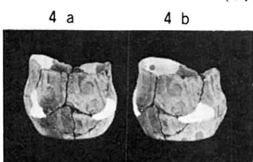


石斧出土状況

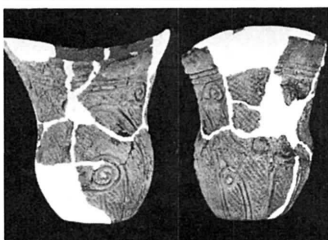


全景
(東から)

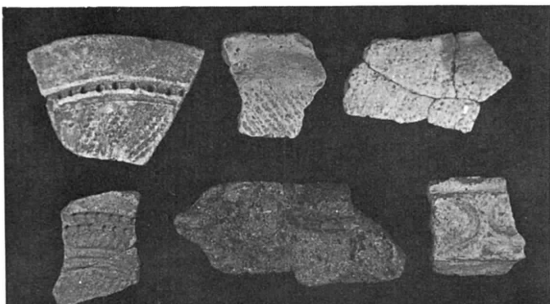
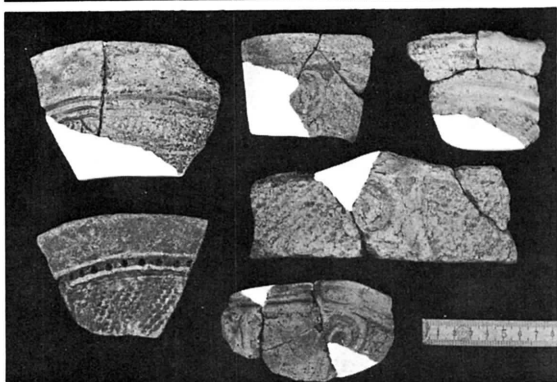
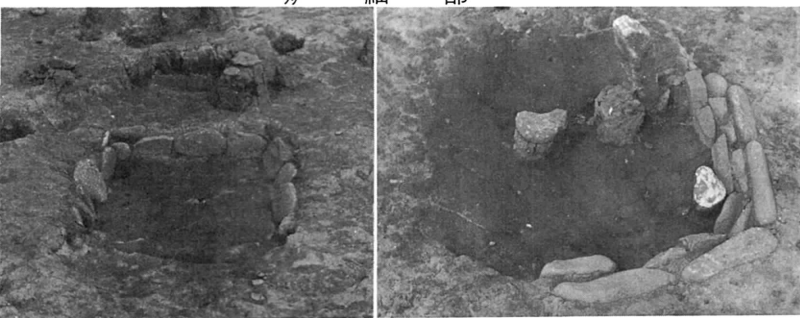
炉細部



4 a 4 b

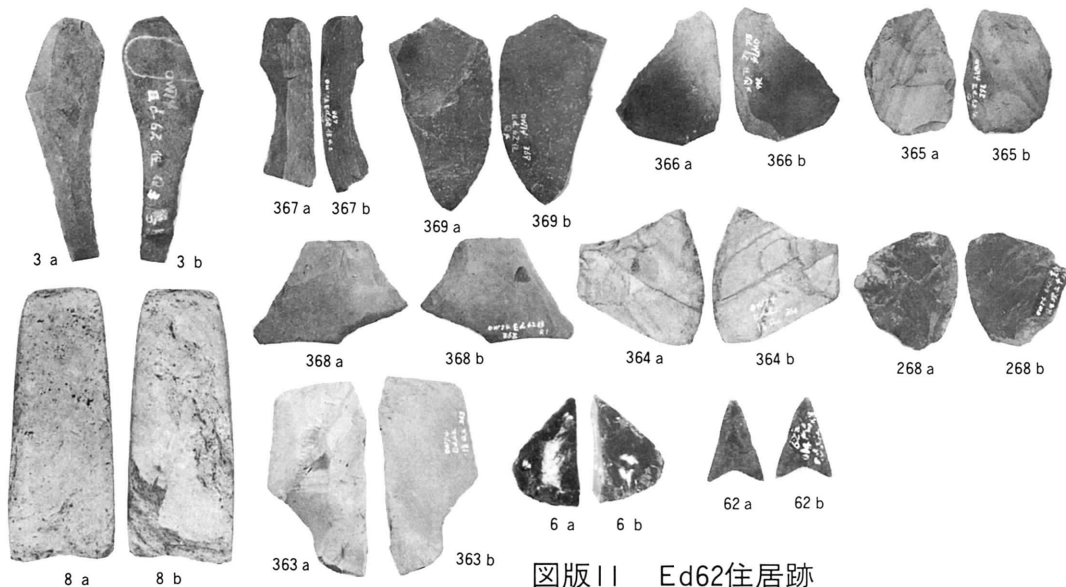


1 a 1 b



31、4、6
5、
3

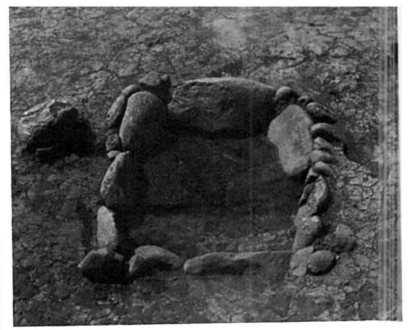
5、12、8
16、19、15



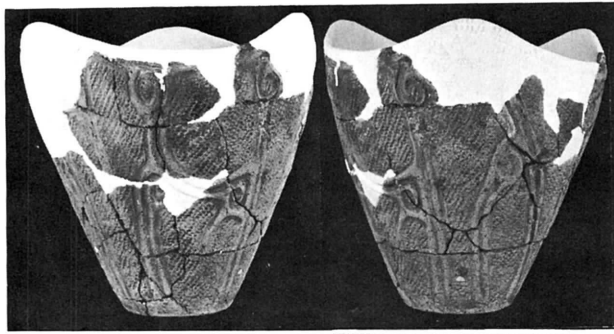
図版II Ed62住居跡



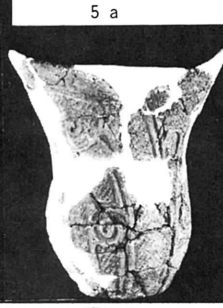
全 景 (東から)



炉細部と土器出土状況



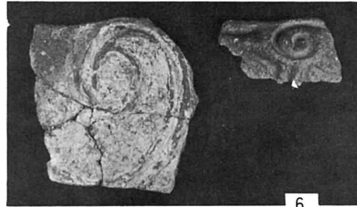
1 a、1 b



5 a



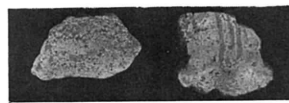
5 b



4



3



9

8



32 a



32 b



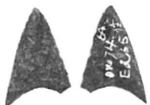
34 a

34 b



371 a

371 b



64 a

64 b



63 a

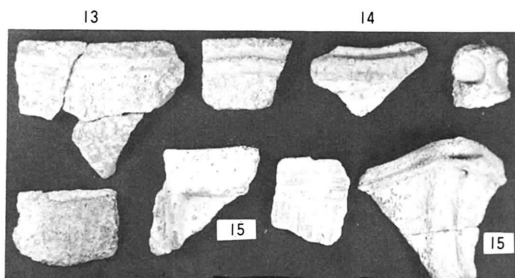
63 b



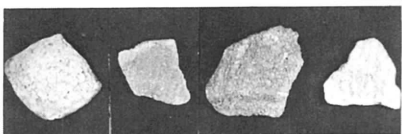
炉細部



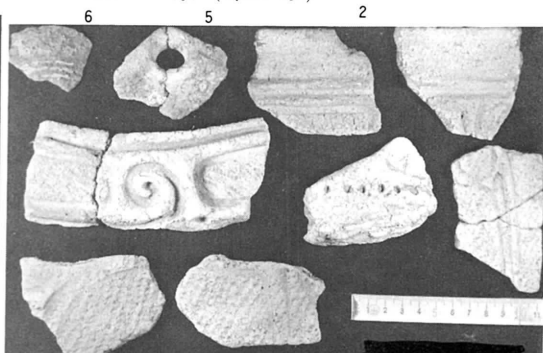
全景（東から）



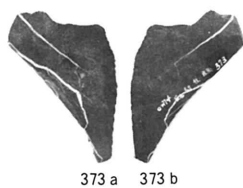
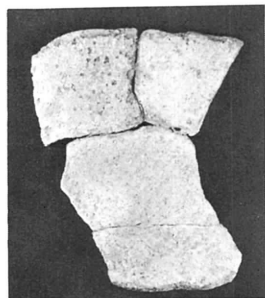
13、●、14、●
●、●、●、15



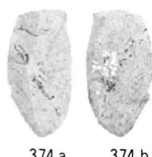
●、7、●、6



6、5、2、●
1、3、17
●、●



373 a 373 b



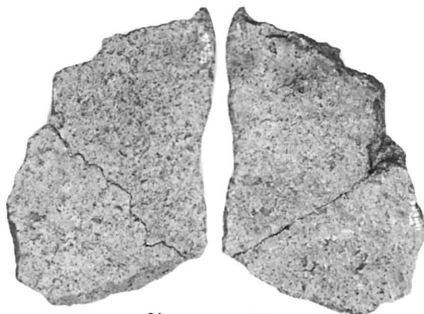
374 a 374 b



375 a 375 b



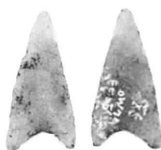
375 a 375 b



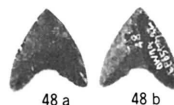
64 a 64 b



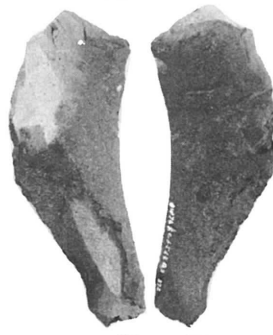
9 a 9 b



65 a 65 b



48 a 48 b



372 a 372 b

図版13 Ee65住居跡



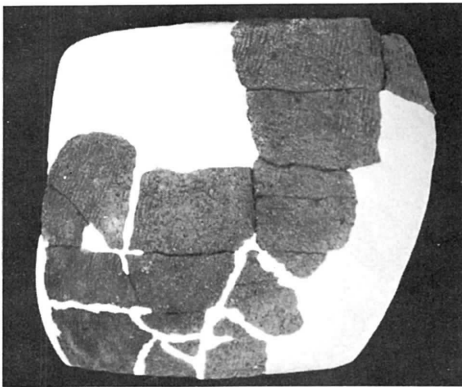
全
景（北から）



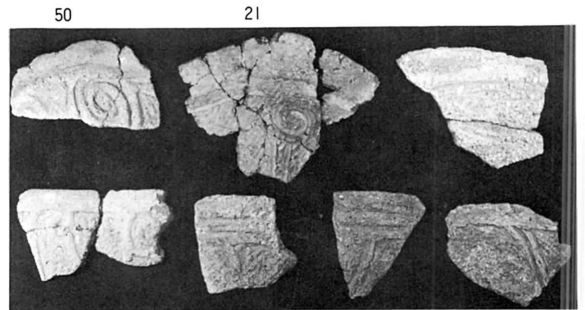
完掘前の状況（南から）



遺物出土状況

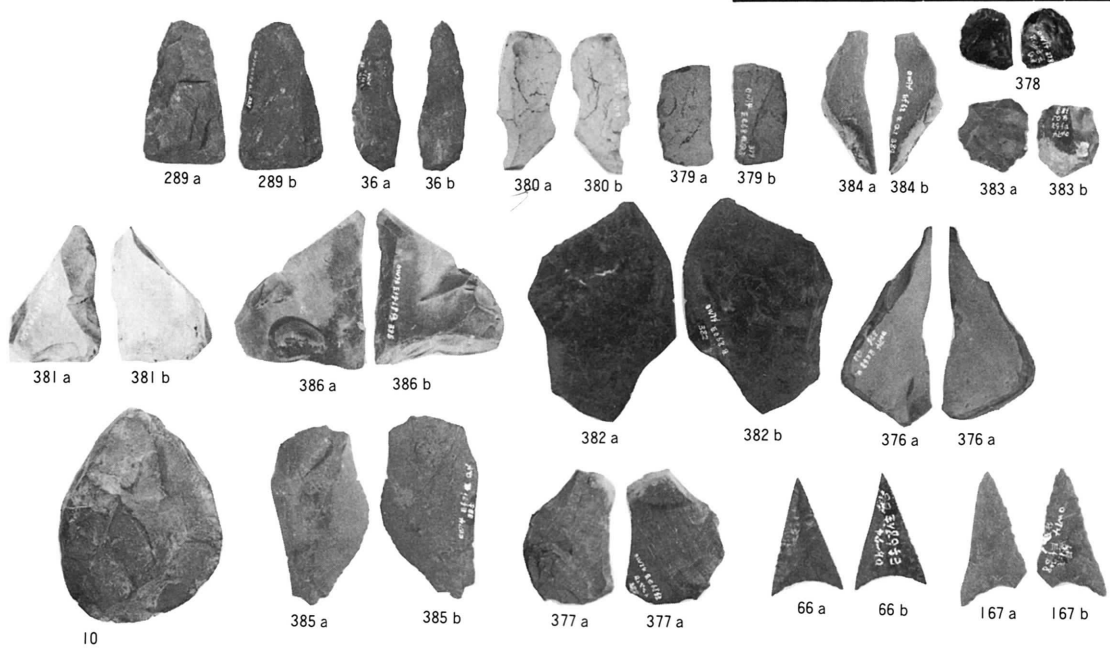
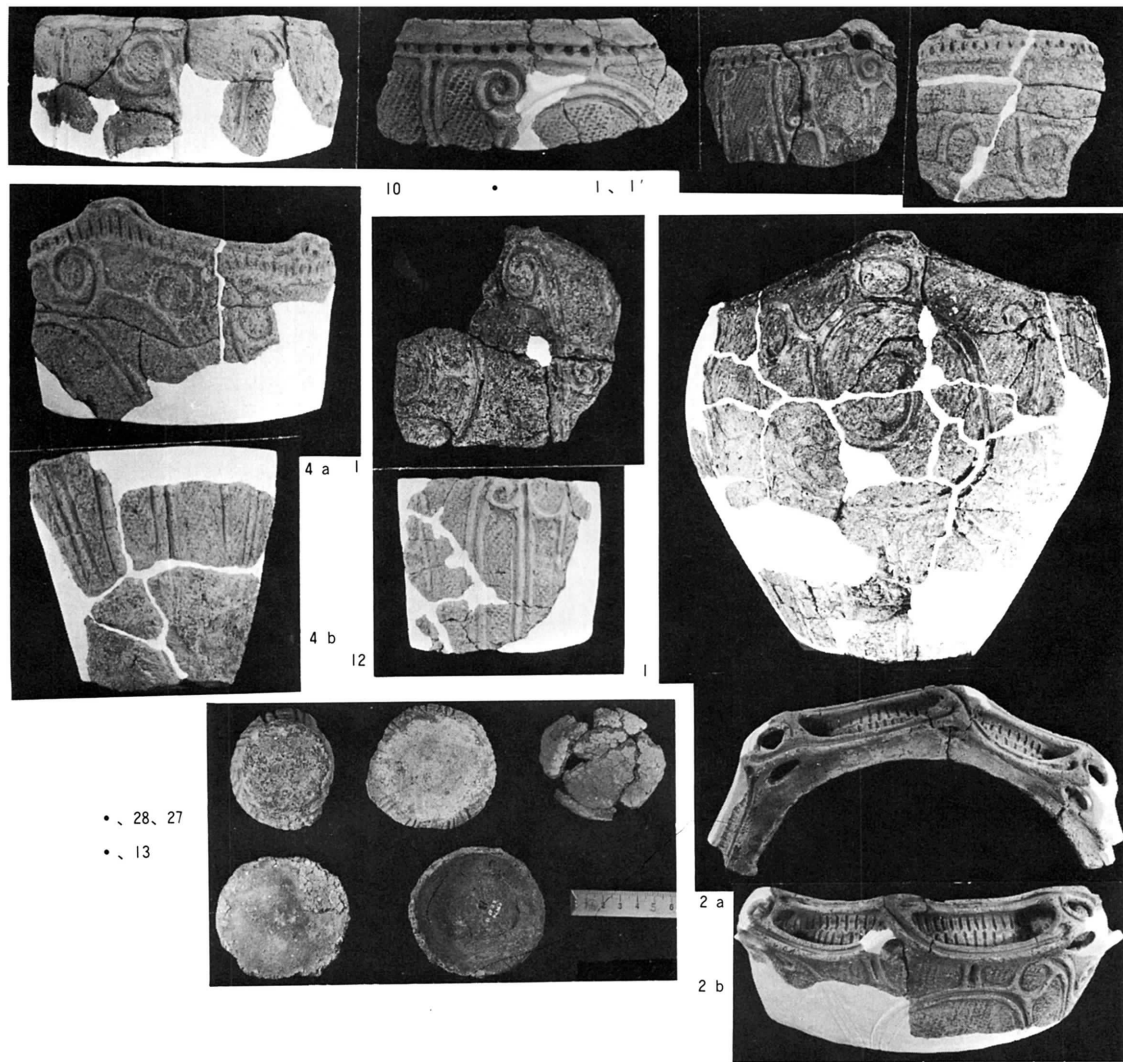


3

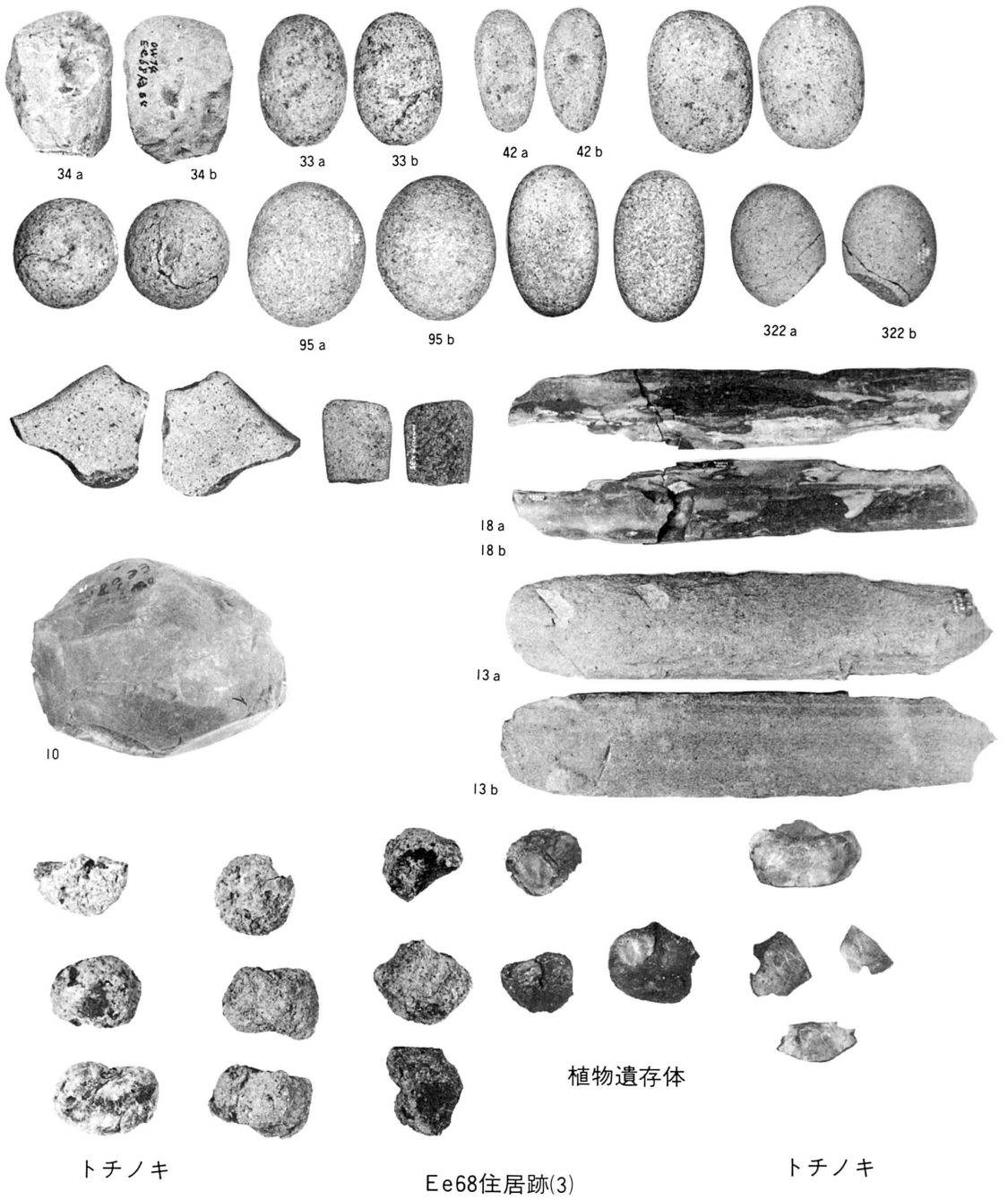


50

21



图版 15 Ee68住居跡(2)



E i 68遺構
 炉細部

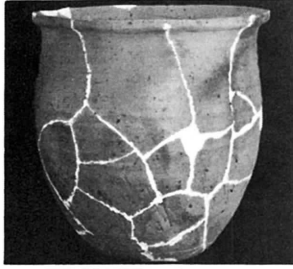
図版16 Ee68住居跡(3)・E i 68遺構



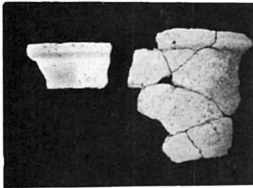
カマド



全
(西から)

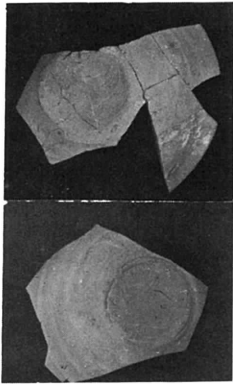


9

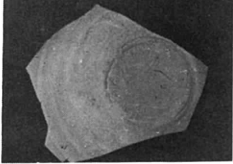


10

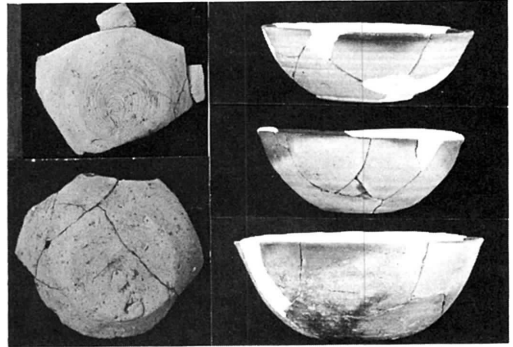
11



2

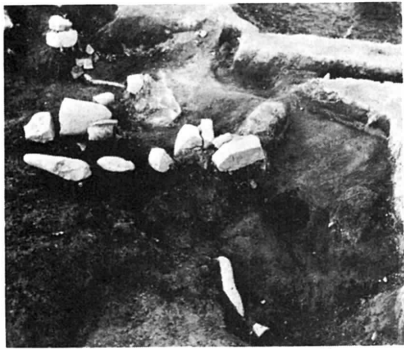


1

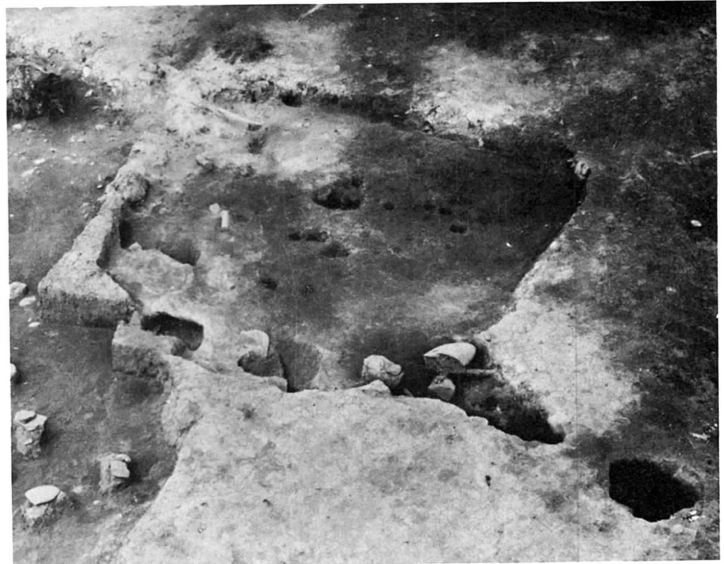
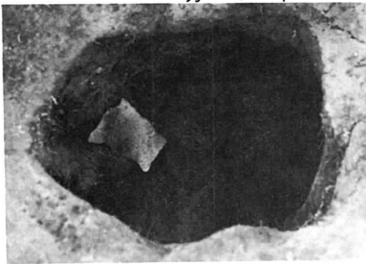


上から 5、4、3

Cf65住居跡

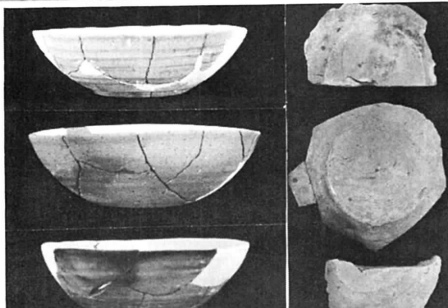


カマド



全 景 (南から)

煙出し



De50住居跡

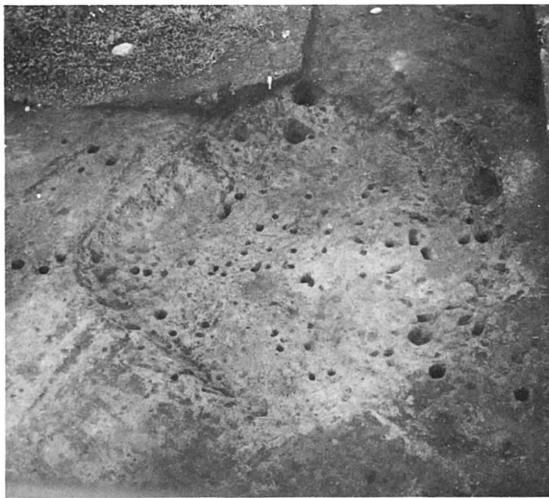
図版17 Cf65住居跡・De50住居跡



全 景 (南から)

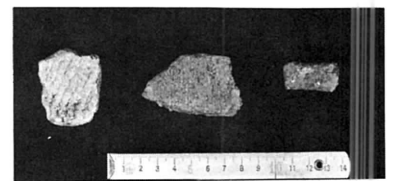


Ch62遺構



全 景
(南から)

Cj50遺構

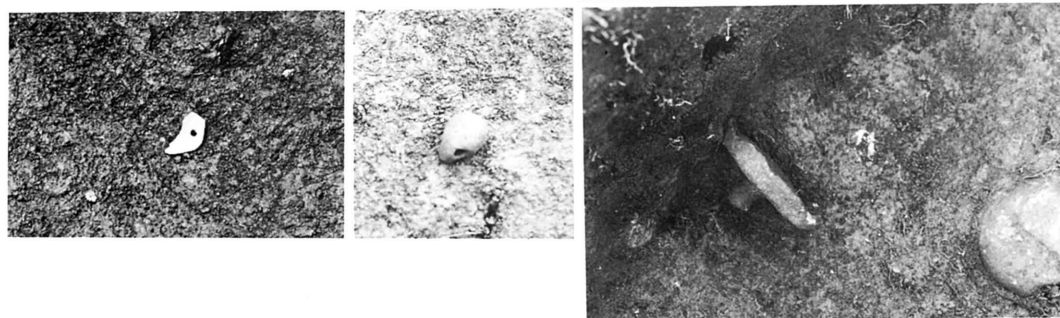
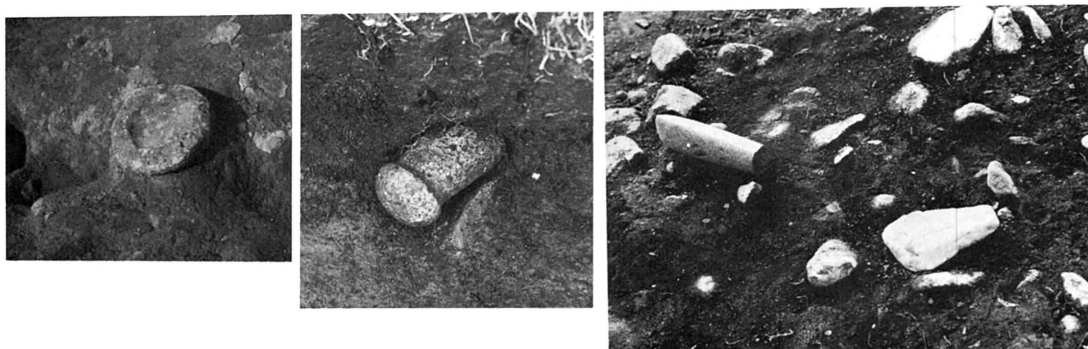
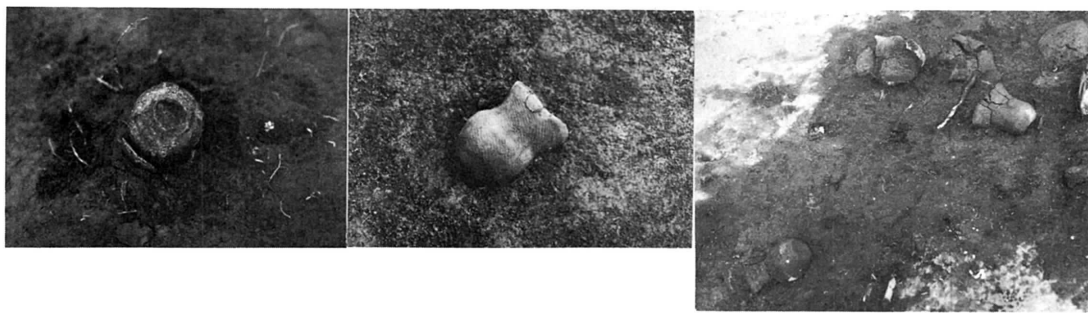


Dh53遺構

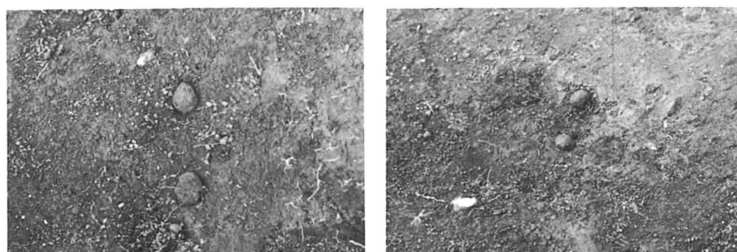
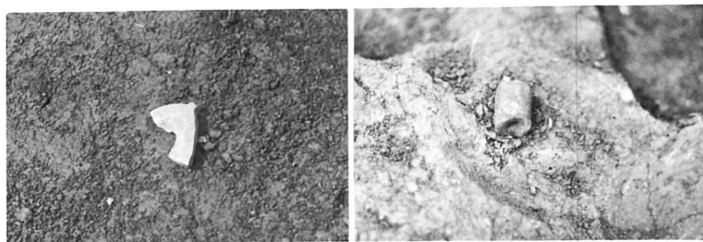
Dh50遺構

全 景 (東から)

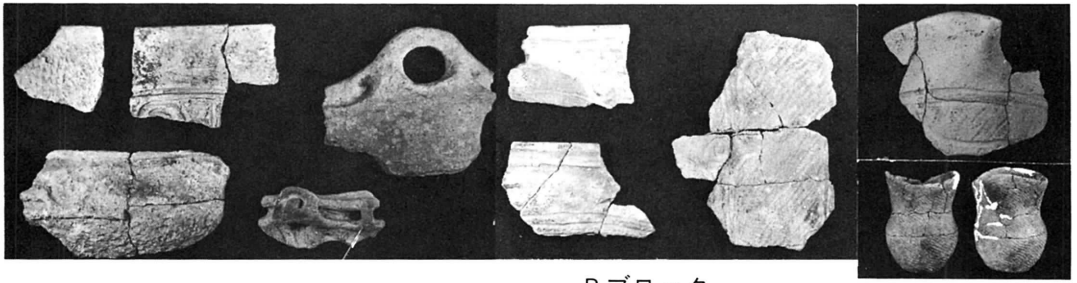
手前から、Dh59・53・50遺構



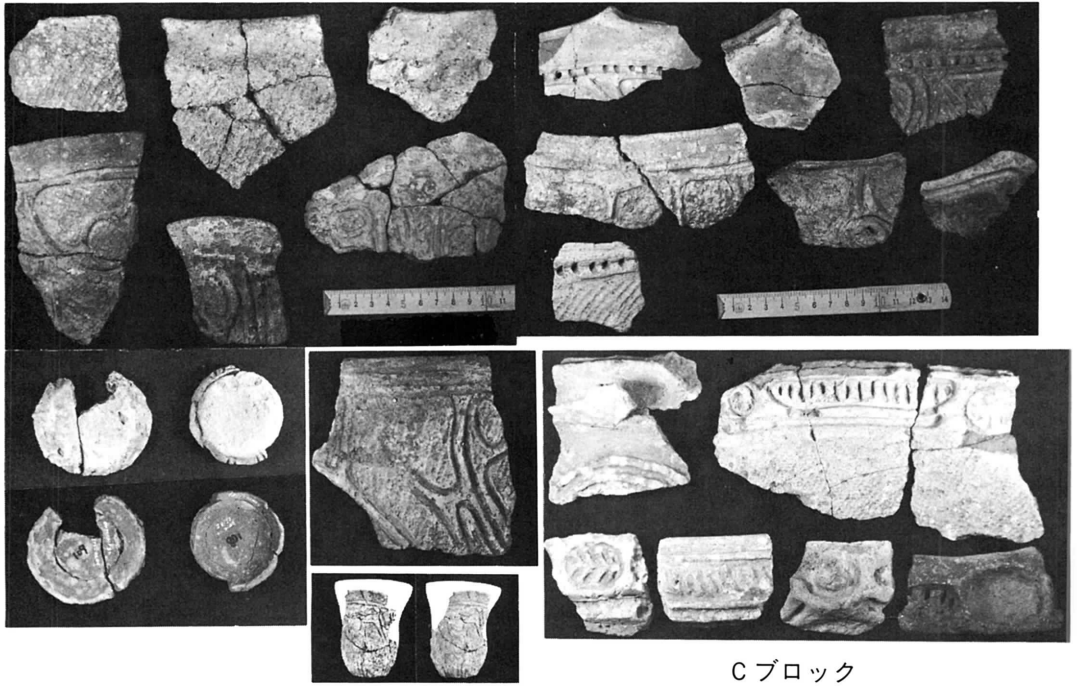
土器類
石器類
石製品類
土製品類
植物種実類



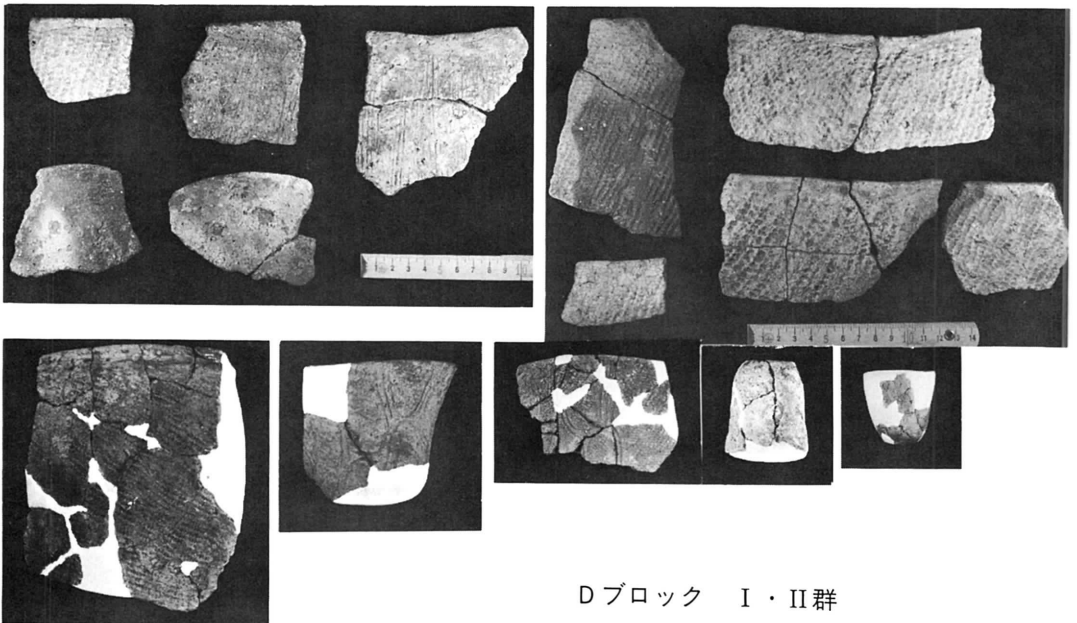
図版19 遺物出土状況



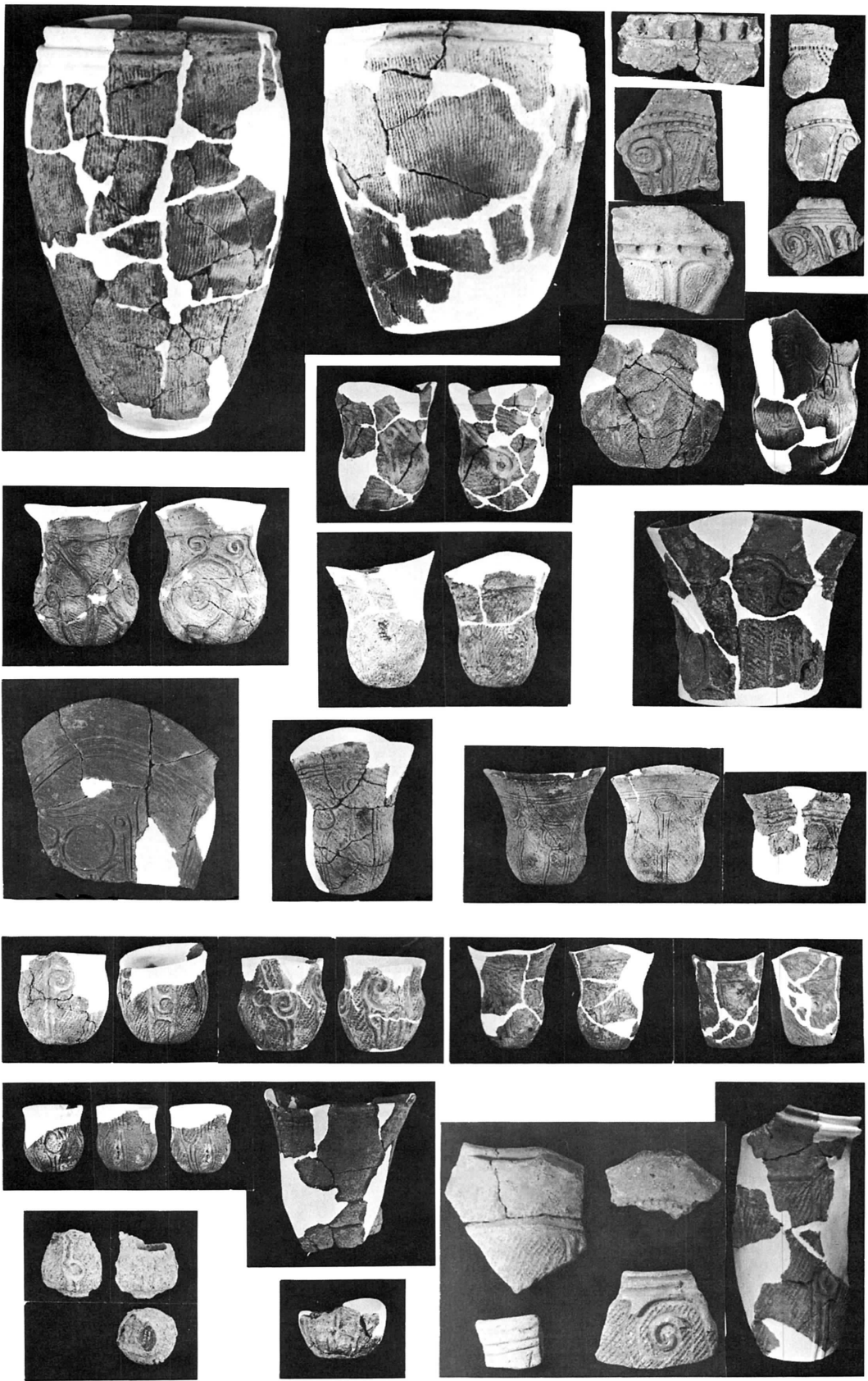
Bブロック



Cブロック

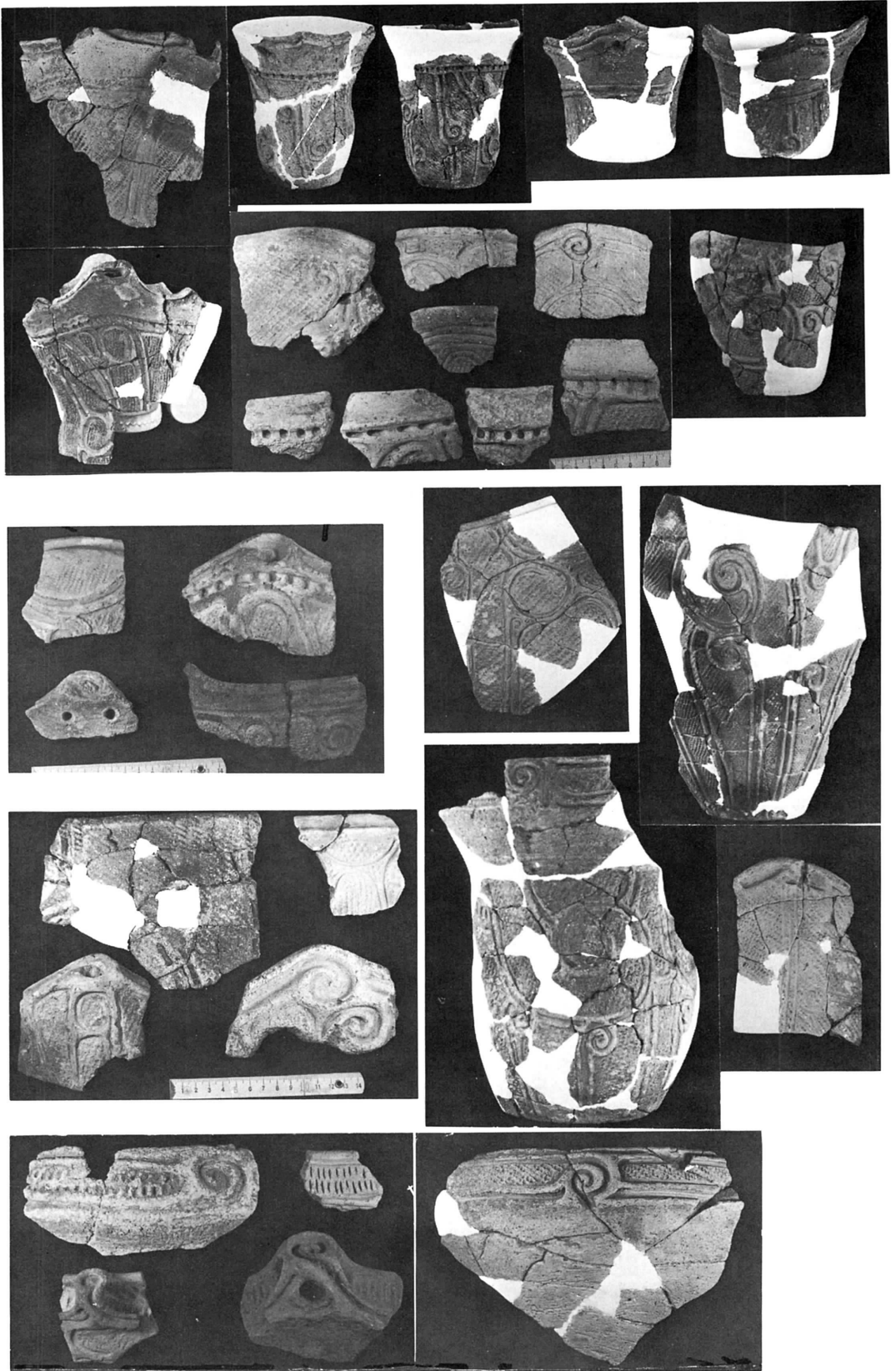


Dブロック I・II群



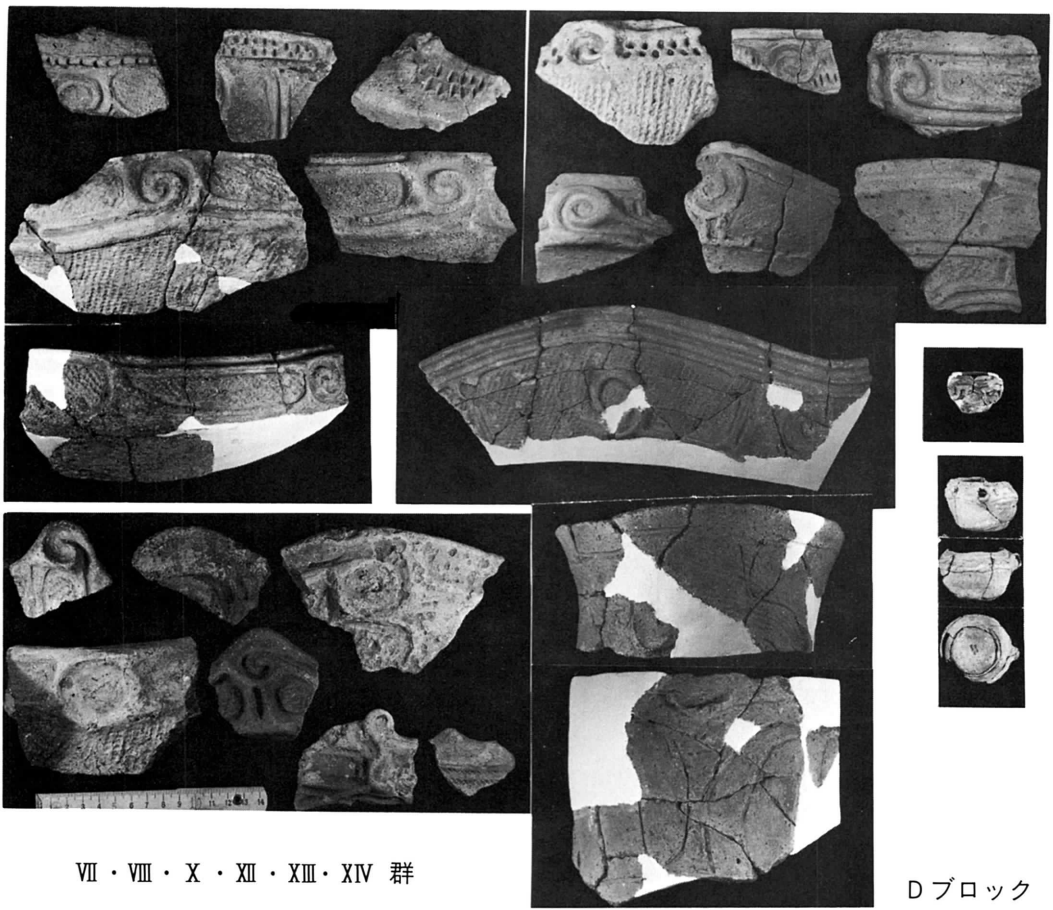
II・III・IV群

図版21 Dブロック出土土器類(2)



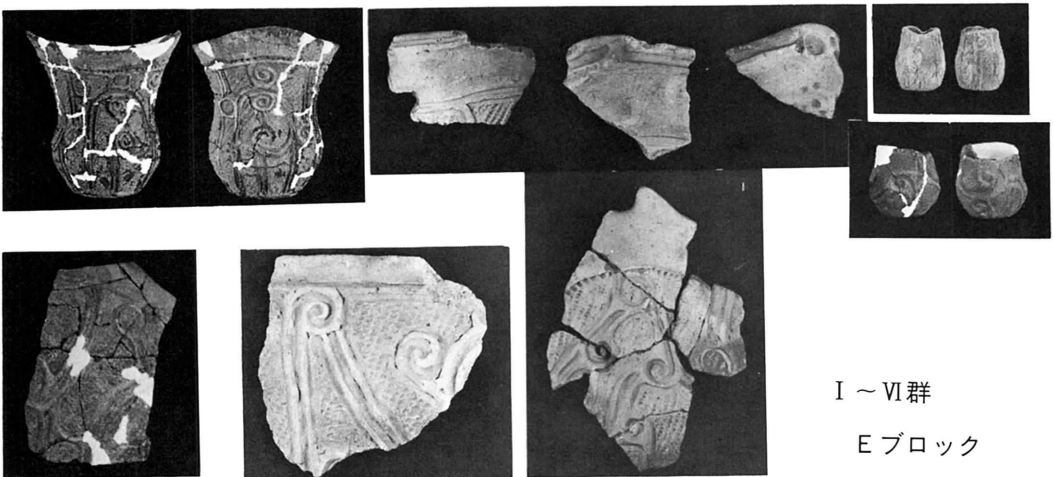
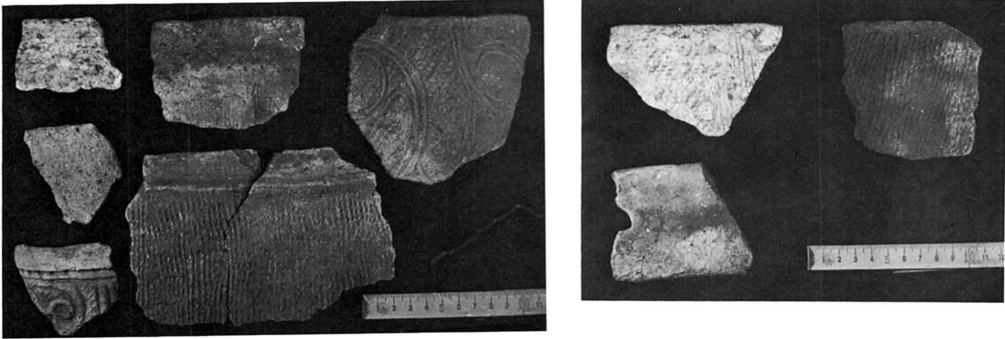
IV・V・VI・VII・IX群

図版22 Dブロック出土土器類(3)



VII・VIII・X・XII・XIII・XIV 群

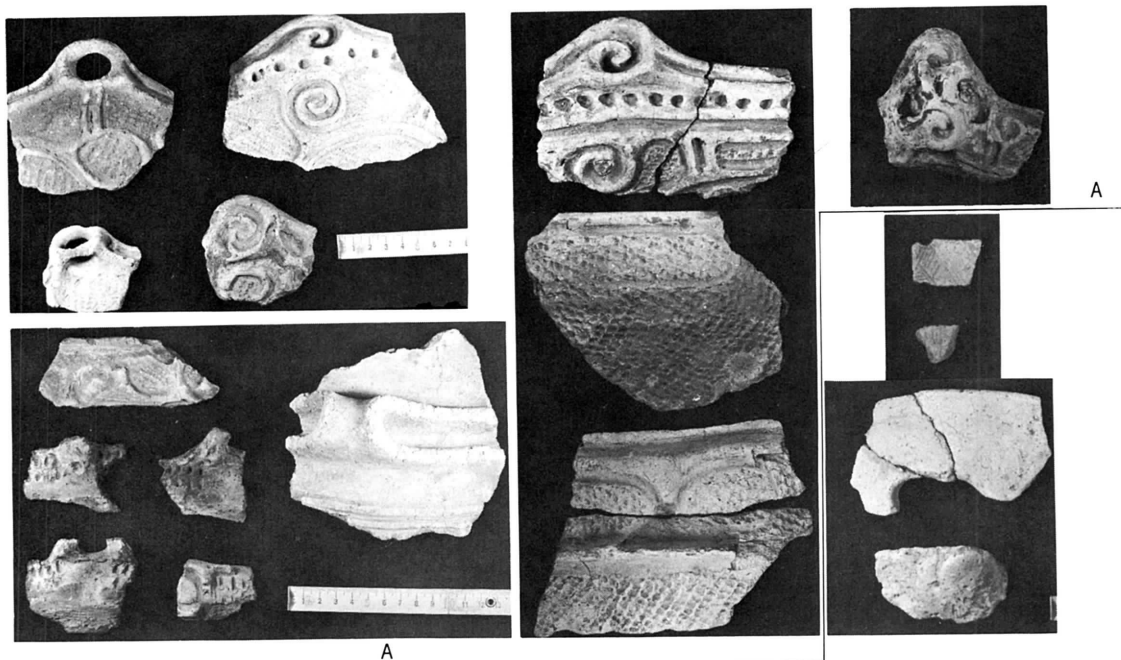
D ブロック



I～VI群

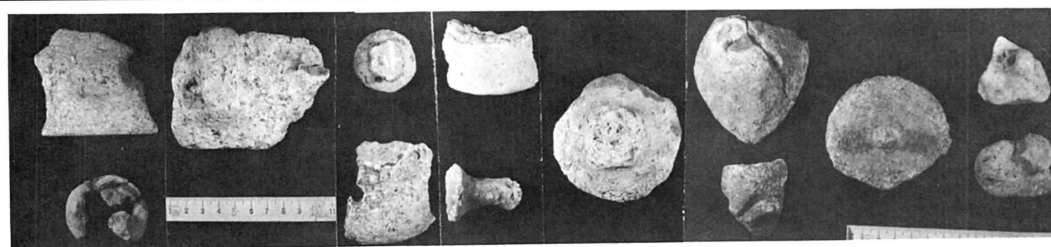
E ブロック

図版23 D・Eブロック出土土器類



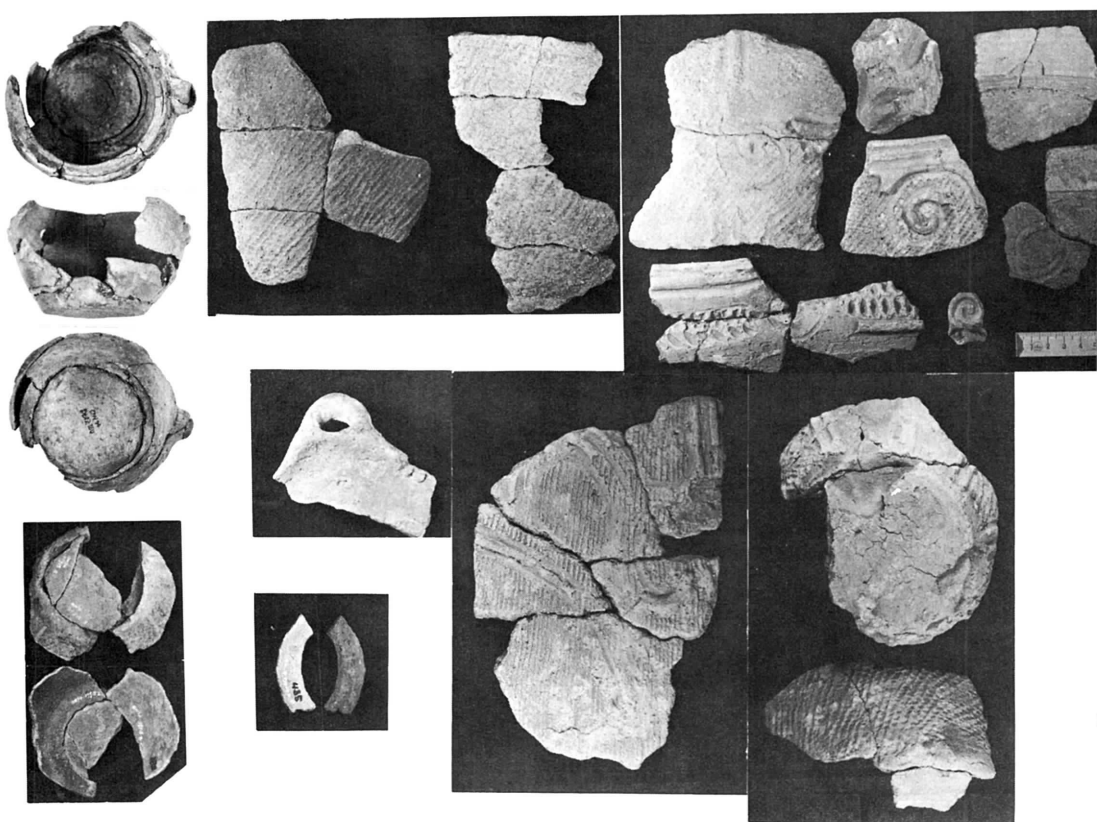
A

A



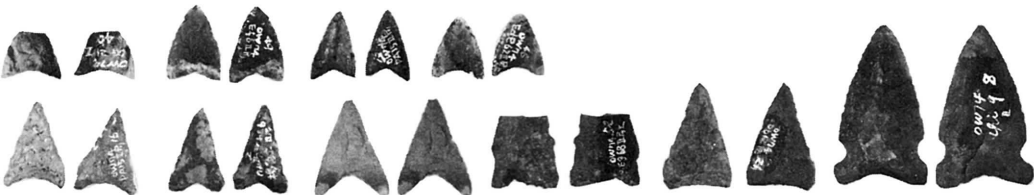
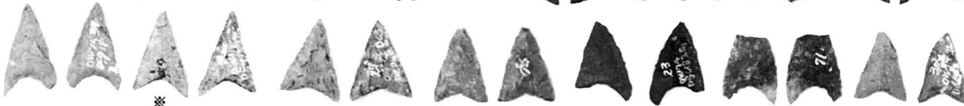
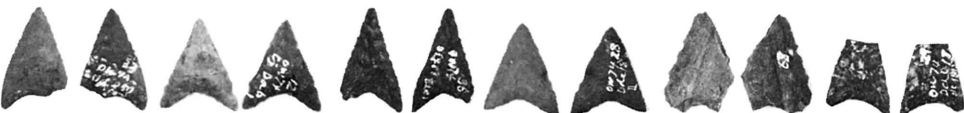
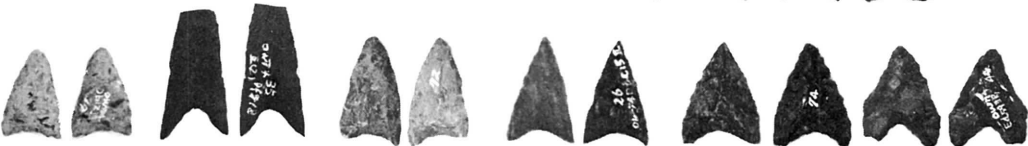
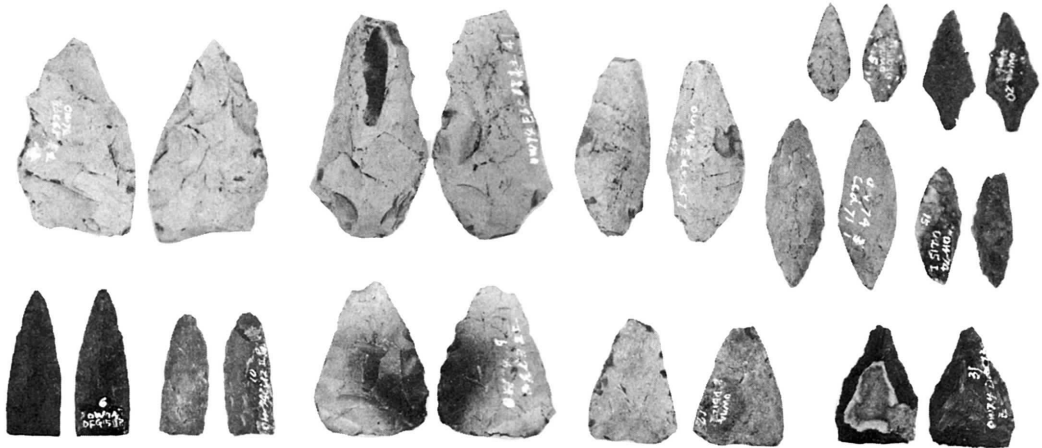
B

B



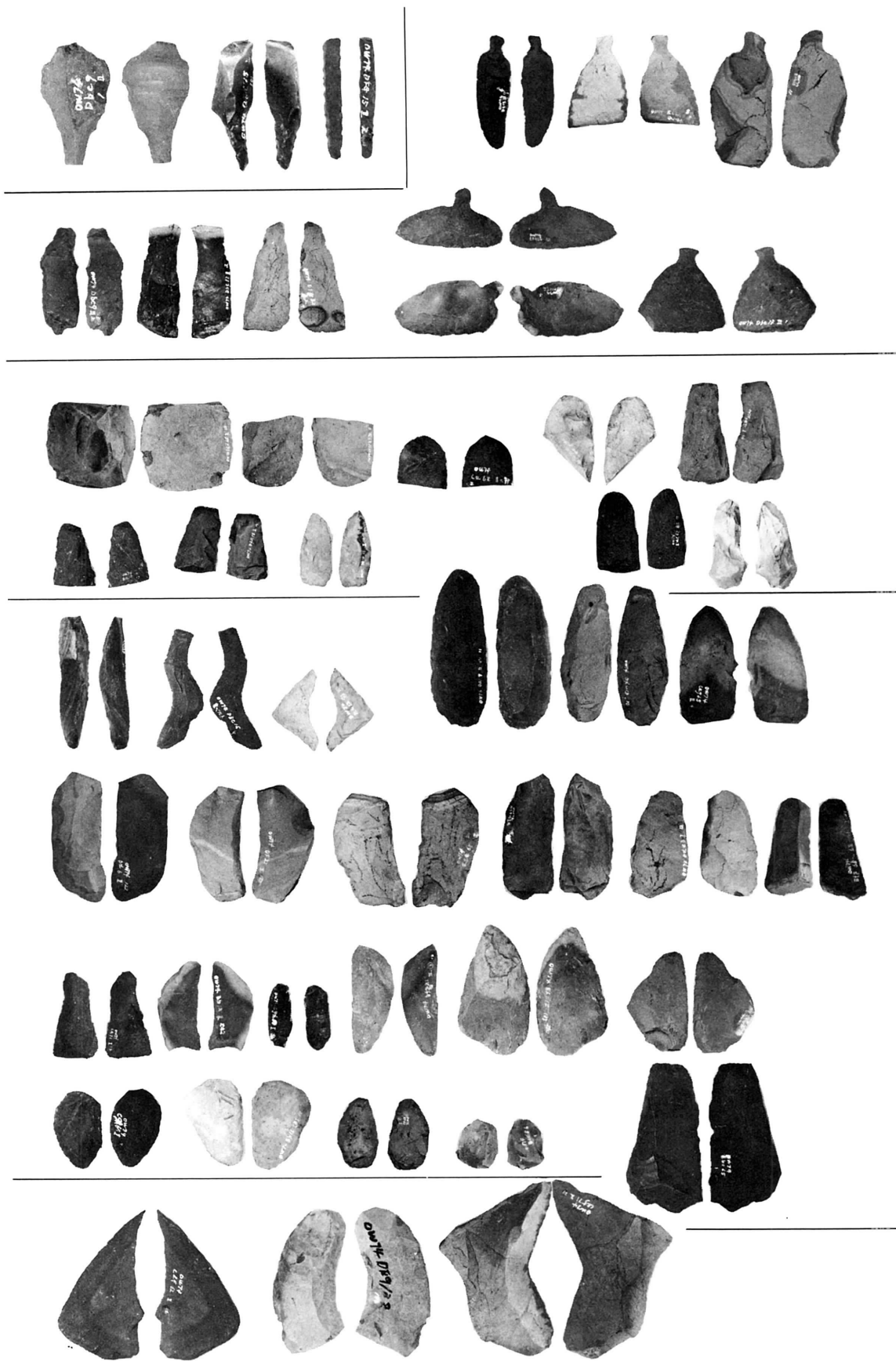
C

図版24 EブロックVII群(A)・その他の土器群(B)・成形の痕跡ある資料(C)

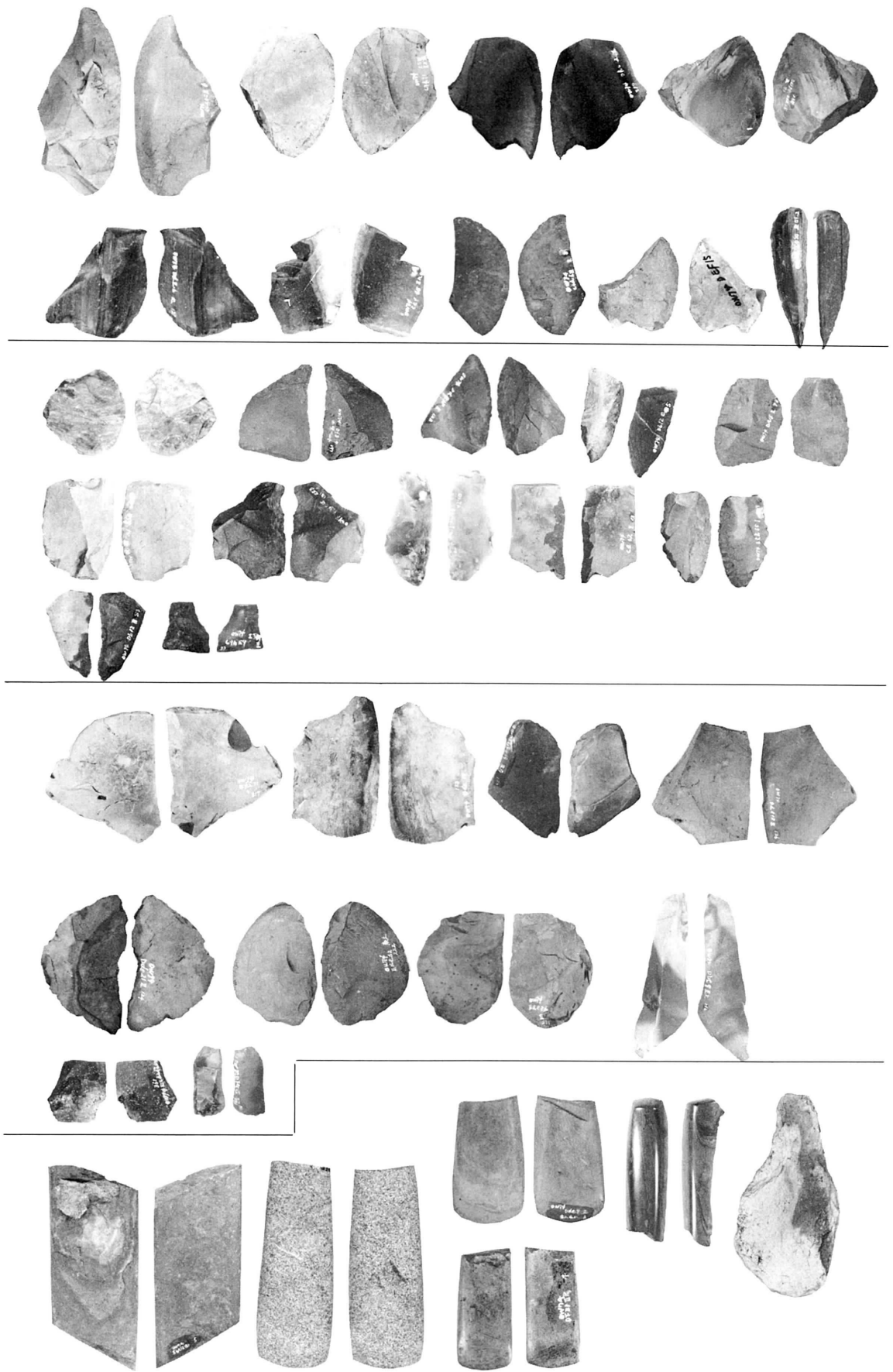


※ アスファルト様のもの付着

図版25 黒耀岩・石器3類(鏃)

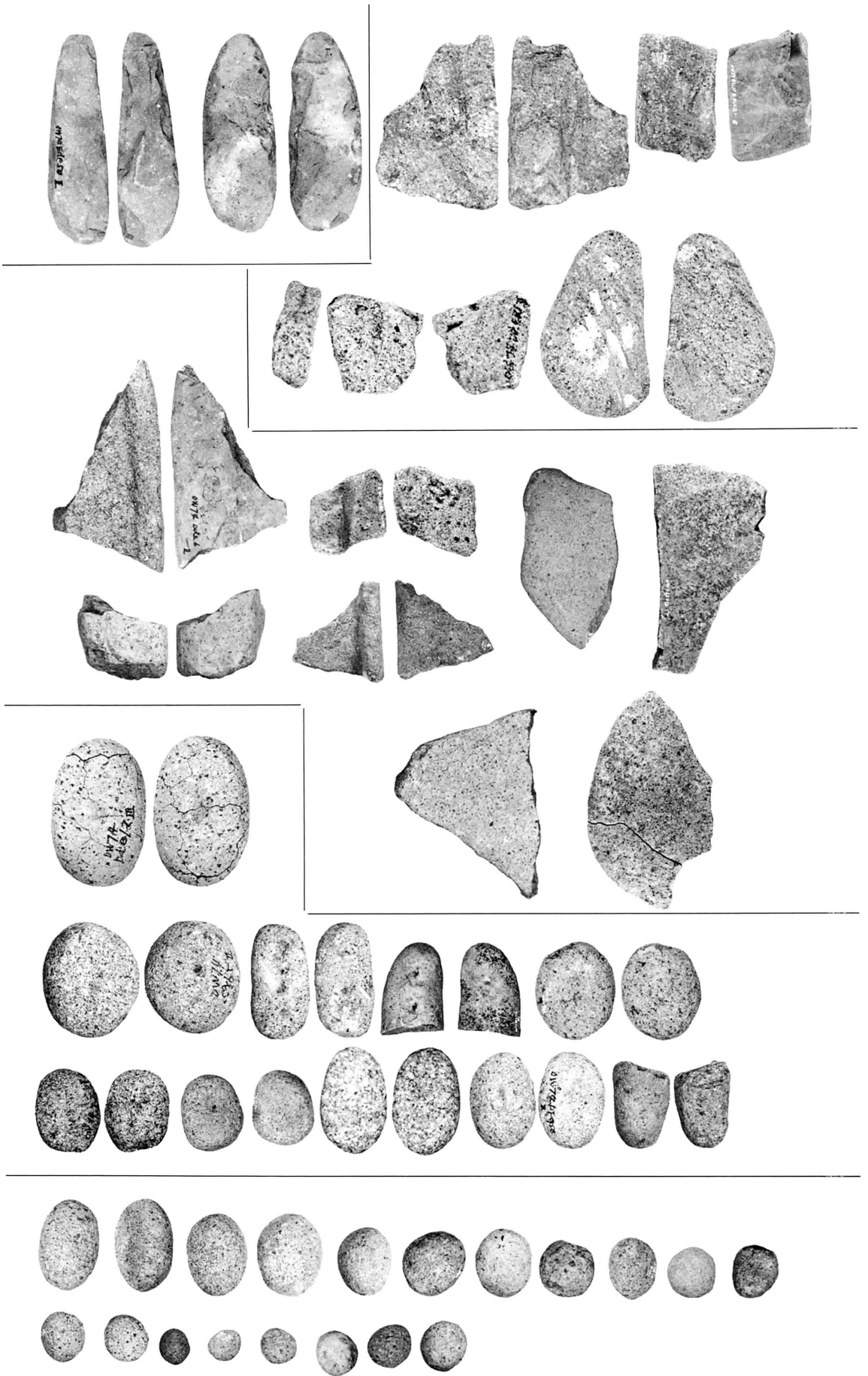


図版26 石器 4・5・6・11・7・8類

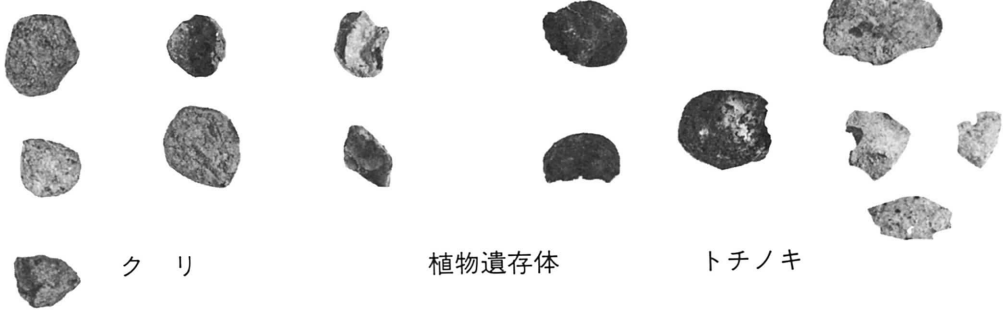
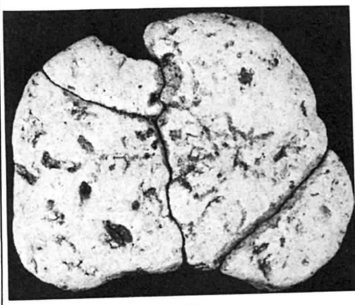
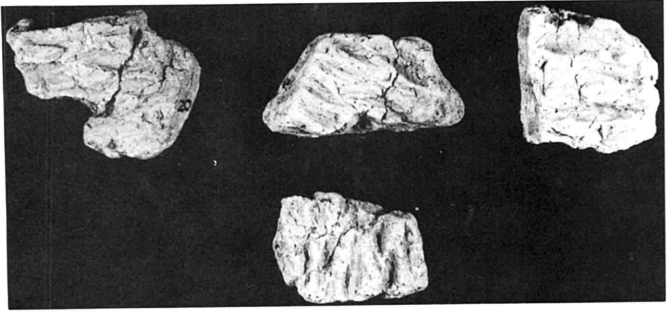
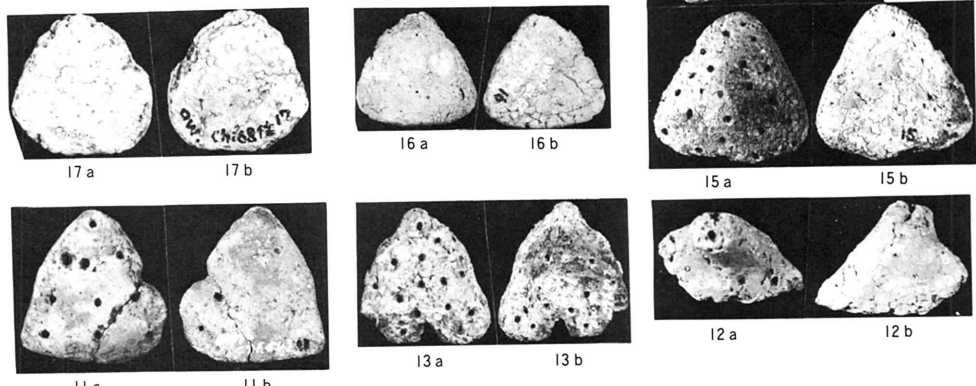
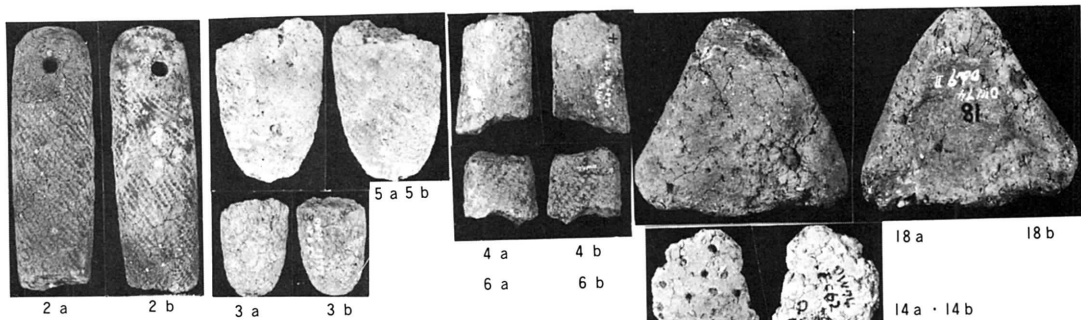


このみ 1/1.5

図版27 石器 9・10・12・16類



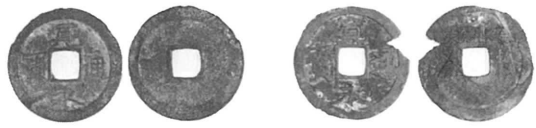
図版28 石器15・18・19・20・21類



ク リ

植物遺存体

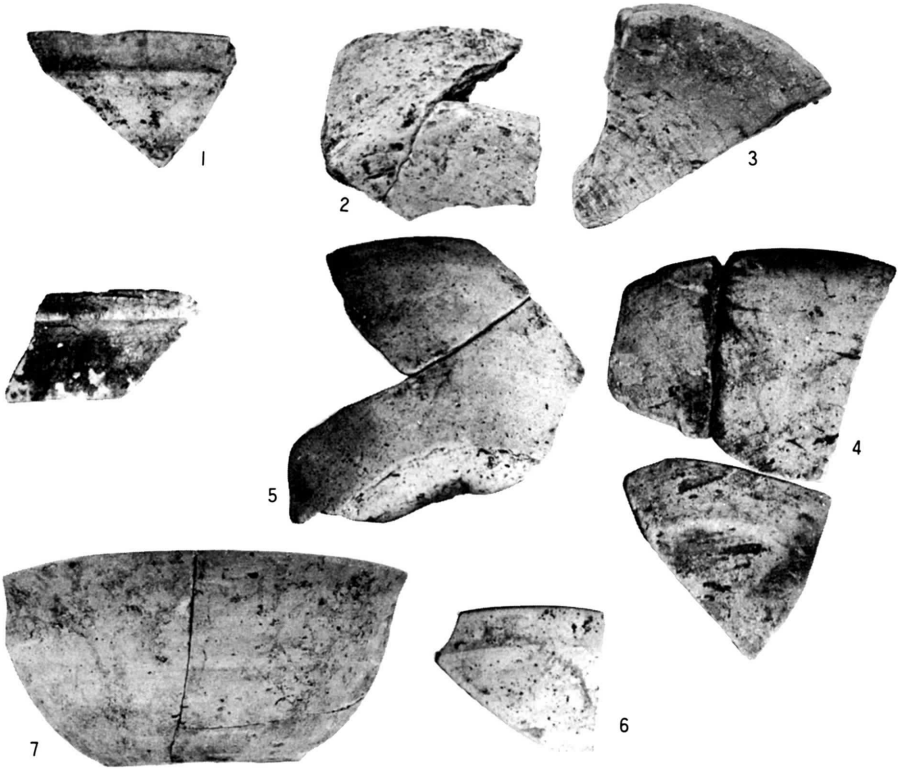
トチノキ



寛永通寶

図版30 斧状・三角形・不明土製品、炭化種実、銭貨

(2) 上台遺跡

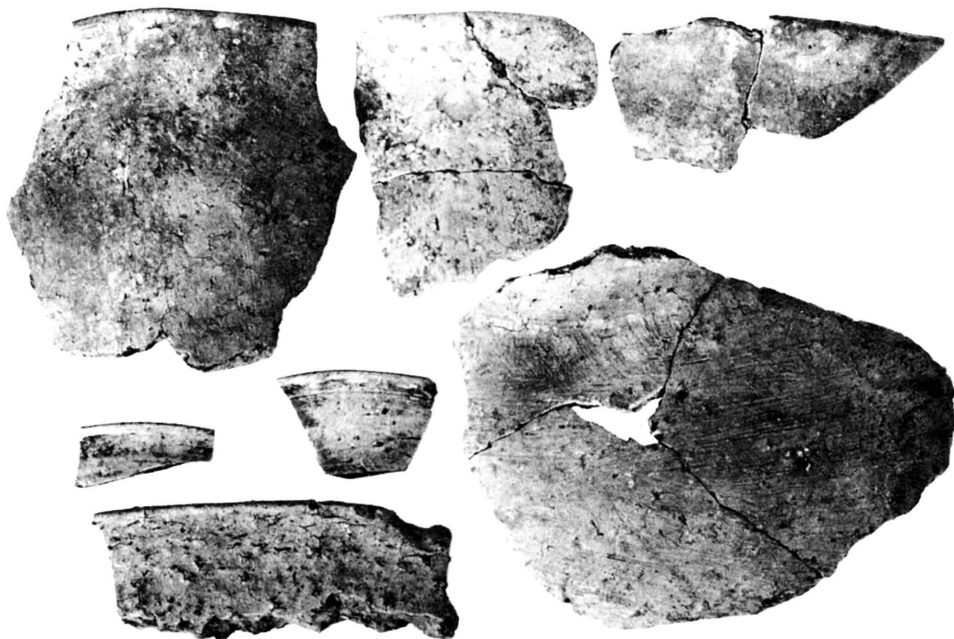


图版 I

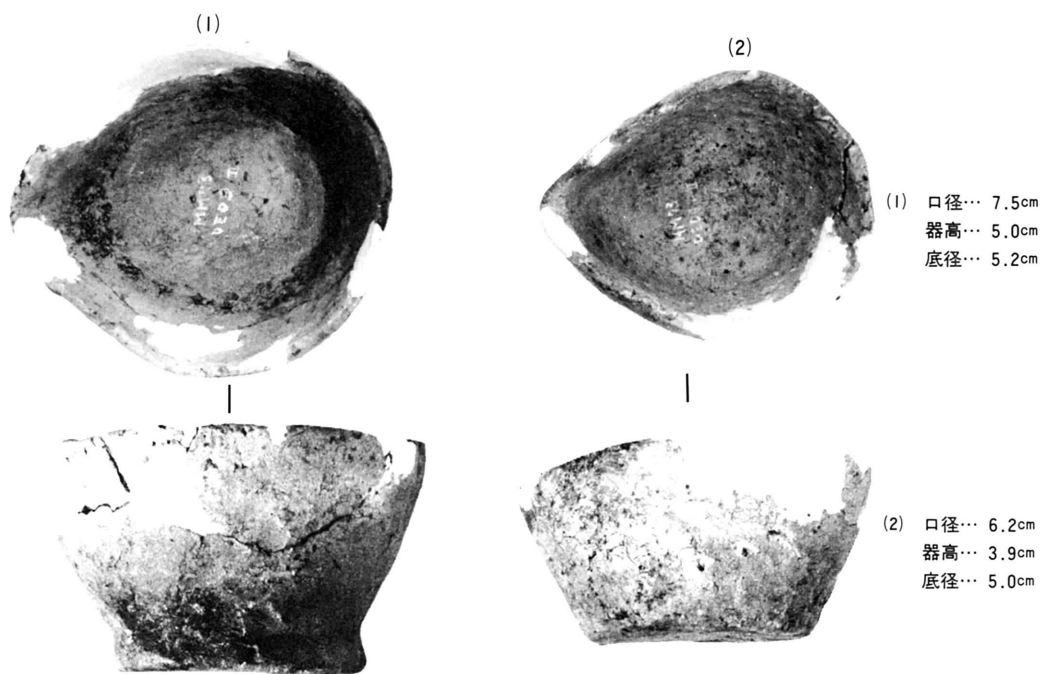
(3) 南万丁目遺跡



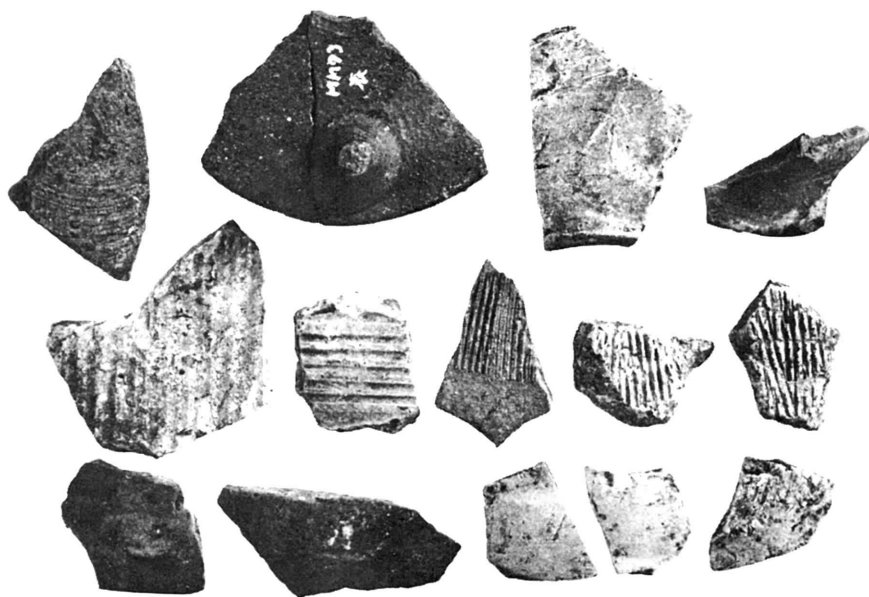
第1図 遺跡全景（南より）



第2図 出土遺物（土師器甕類破片）

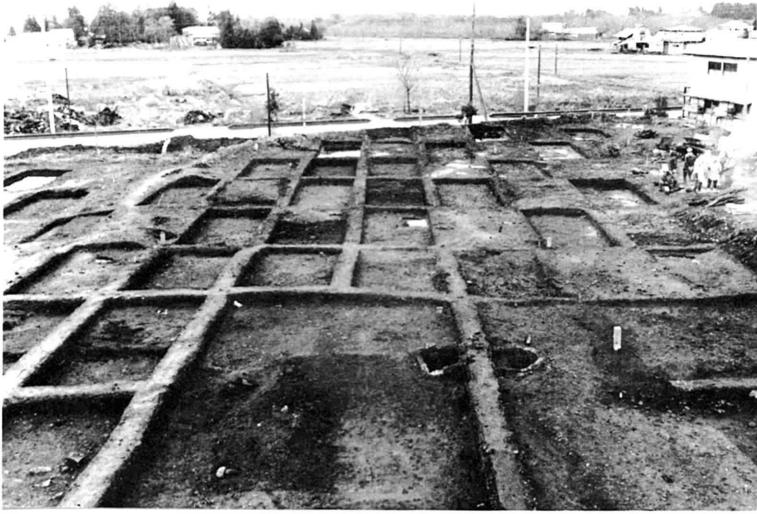


第 3 图 出土遺物・小形片口土器（土師器）

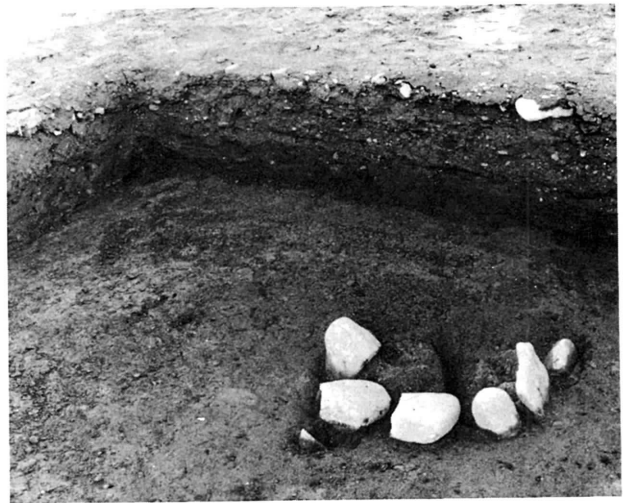


第 4 图 出土遺物（陶磁器・烧台類破片）

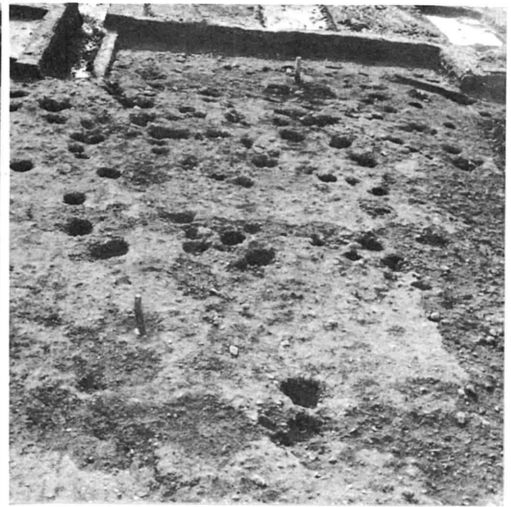
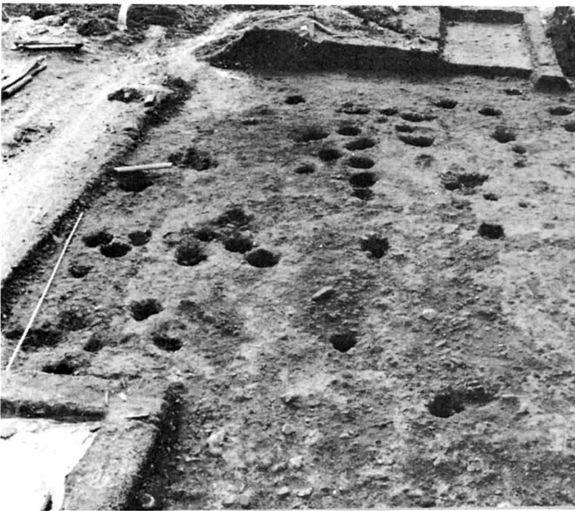
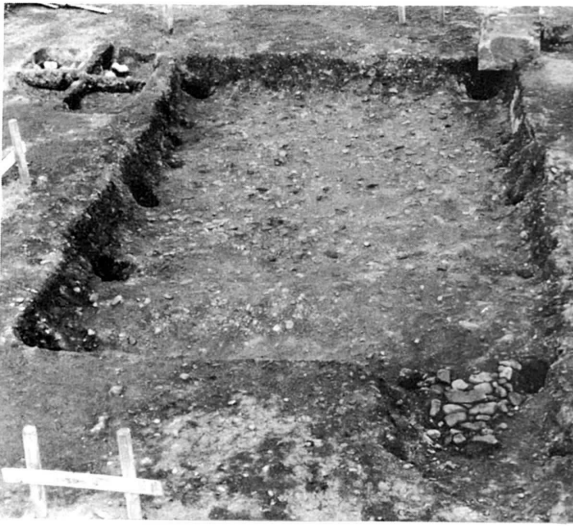
(4) 古館遺跡



上：南縁西側（北より）
中左：南縁東側（西より） 中右：東縁（北西より）
下：北縁土塁（右・南西より、左・北西より）



上 : Cm03焼土遺構 (右・西より)
中・下 : Da50焼土遺構



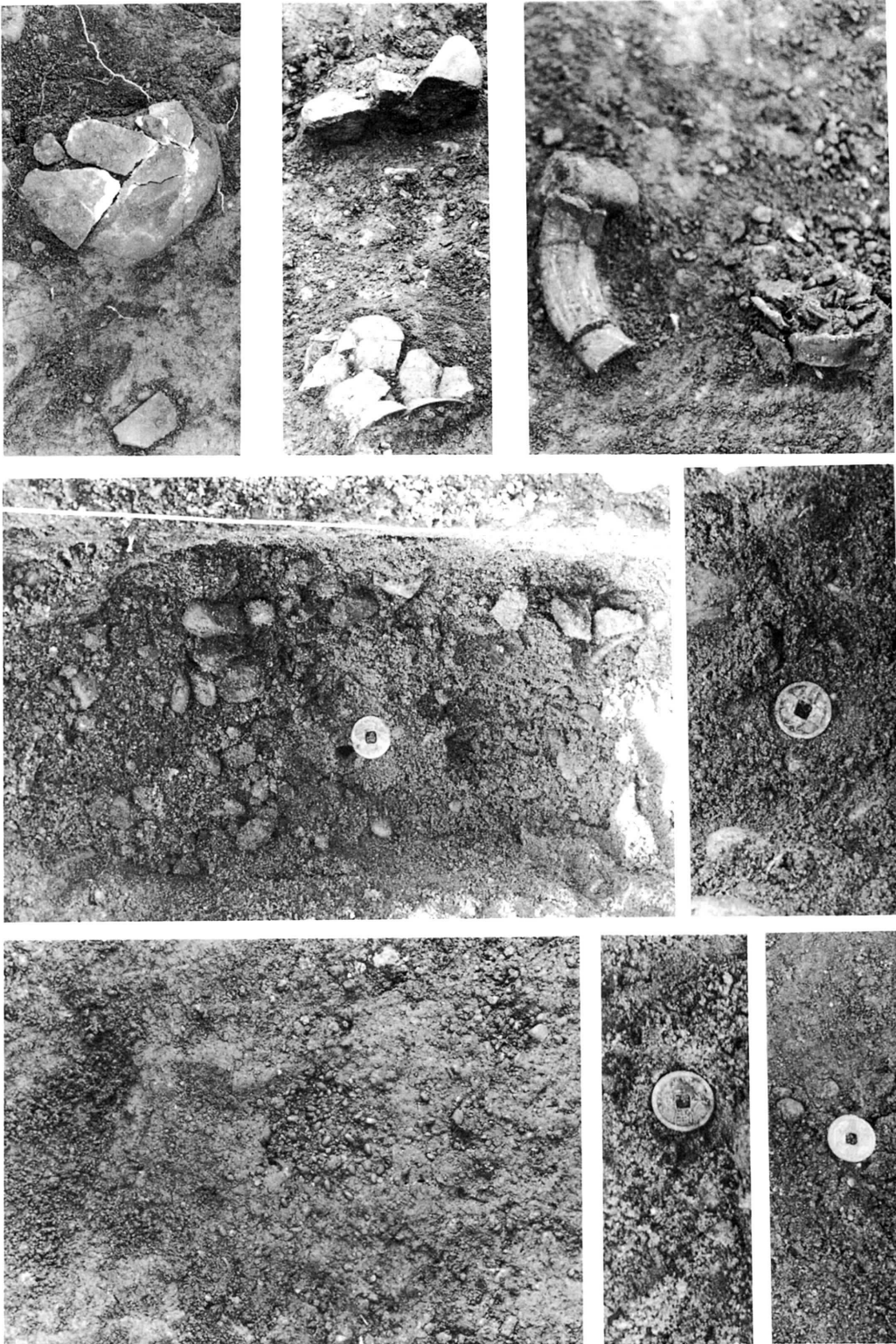
上左：1号建物跡（南より）

上右：3号建物跡(下)、4号建物跡(上)（南より）

中：2号建物跡（北より）

下：南縁柱穴群（北より）

図版3 掘立柱建物跡



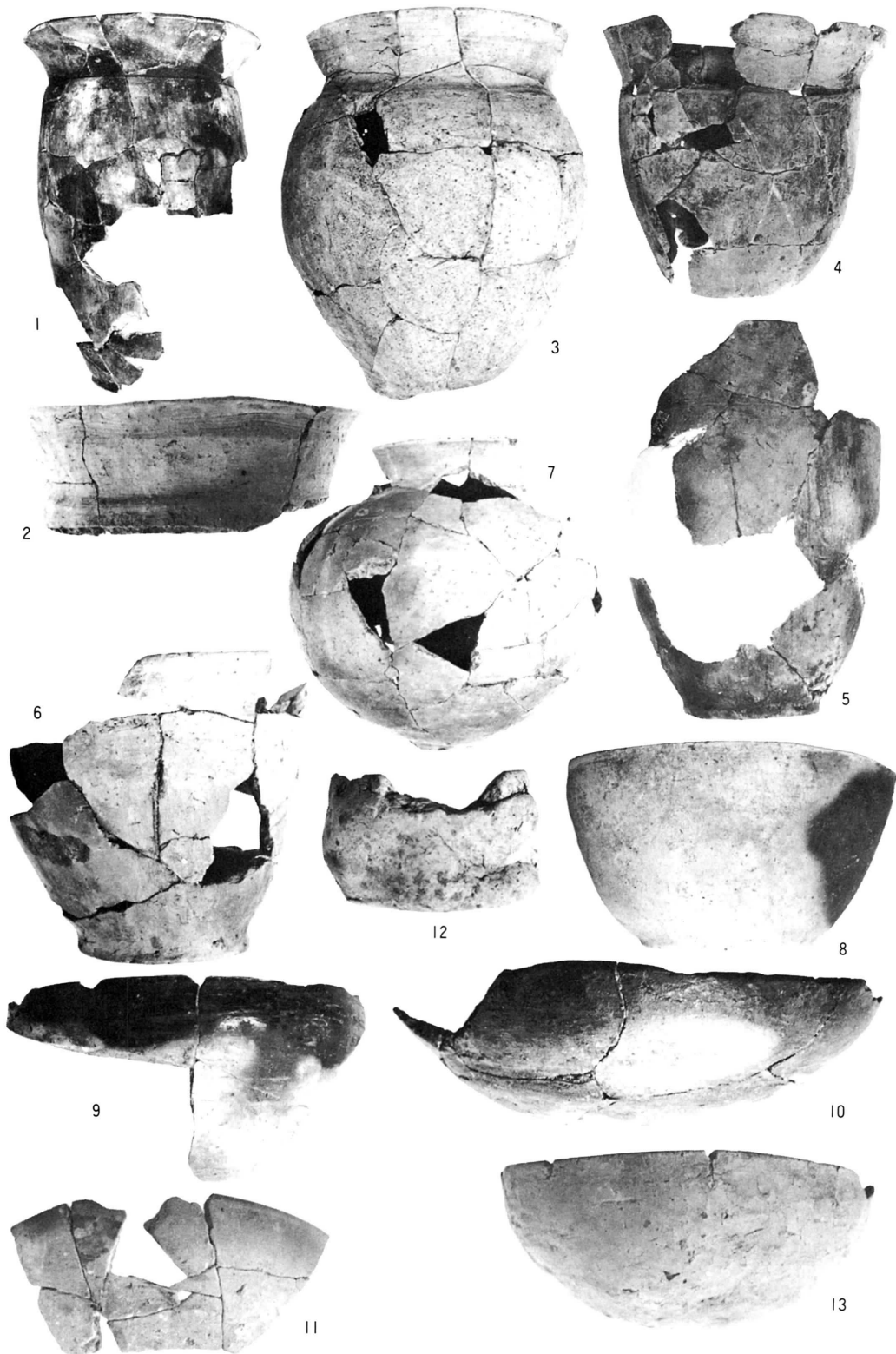
上：甕形土器出土狀況（左・図版5-7、中・図版5-3、右・図版5-2）

中、下右・中：1号建物跡古銭出土狀況（中左・図版9-10、中右・図版9-6、

下右・図版9-7、下左・図版9-16）

下左：1号建物跡炭化米出土狀況

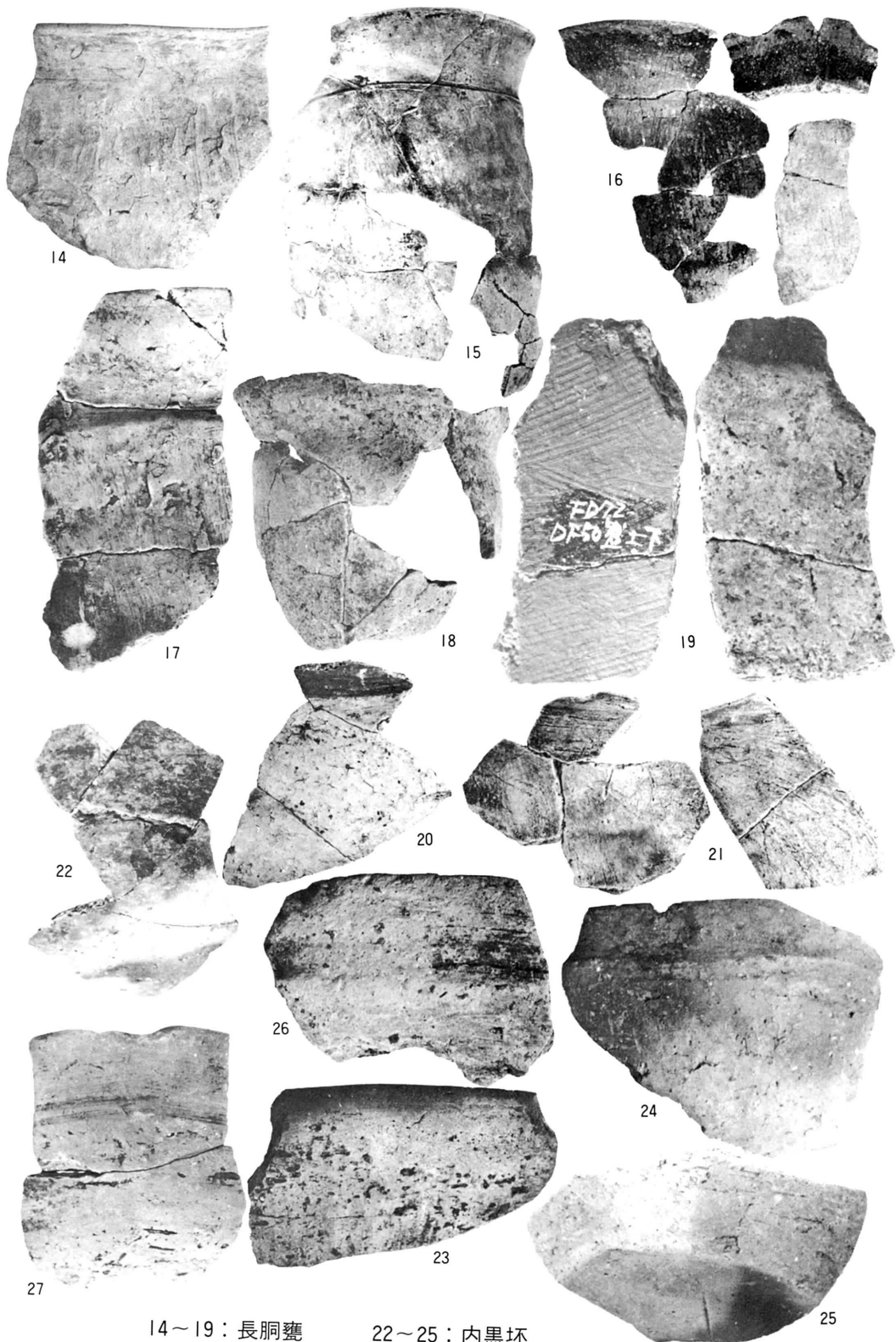
図版4 遺物出土狀況



縮尺不同

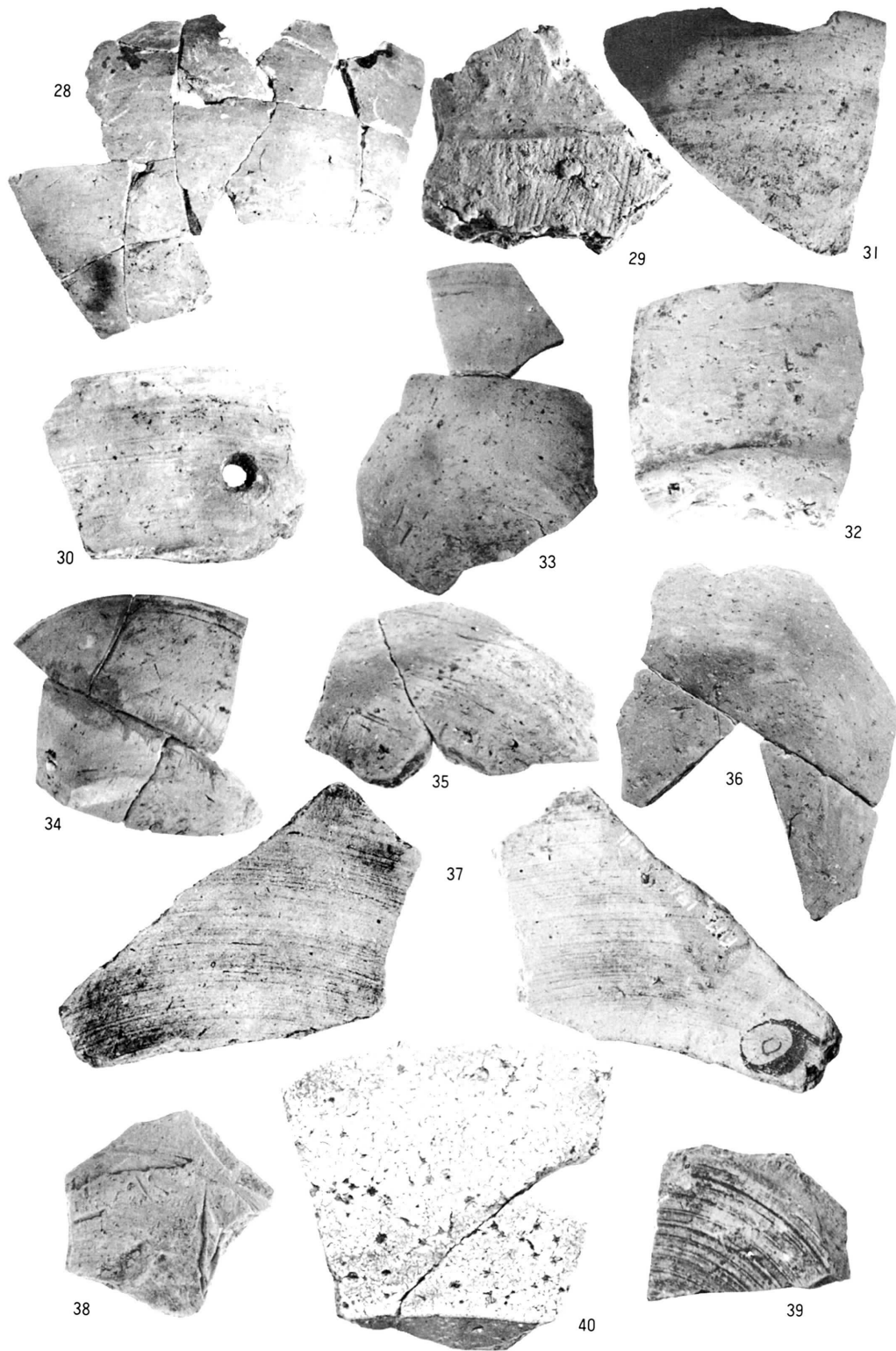
- 1 ~ 6 : 長胴甕 9 · 10 : 内黒坏(有段丸底) 13 : 内黒坏(丸底)
 7 : 球胴甕 11 · 内黒坏(ろくろ使用)
 8 : 坏(非内黒) 12 : 小型手捏ね土器

図版 5 表土等出土遺物 I



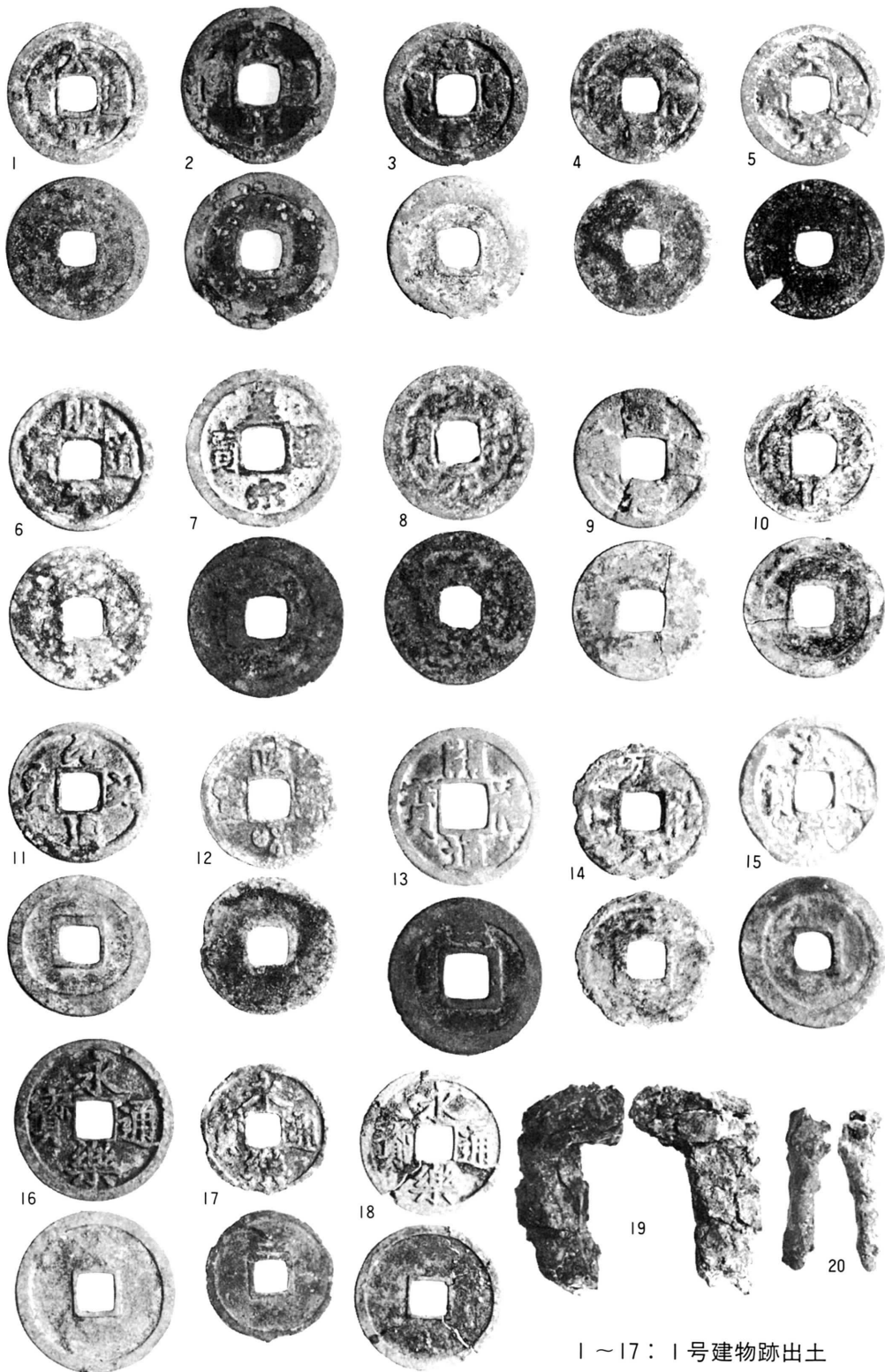
14~19：長胴甕
 20・21：球胴甕
 縮尺不同

22~25：内黒坏
 26・27：非内黒坏



- | | |
|---------------|----------------------|
| 28：球胴甕(体下半部) | 33～36：内黒坏(ろくろ使用) |
| 29・30：長胴甕(頸部) | 37：非内黒坏(左外面、右内面) |
| 31・32：坏(有段) | 38・39： // 底下面(ろくろ使用) |
| | 40：陶器 |

図版 7 表土等出土遺物Ⅲ



1 ~ 17 : 1号建物跡出土

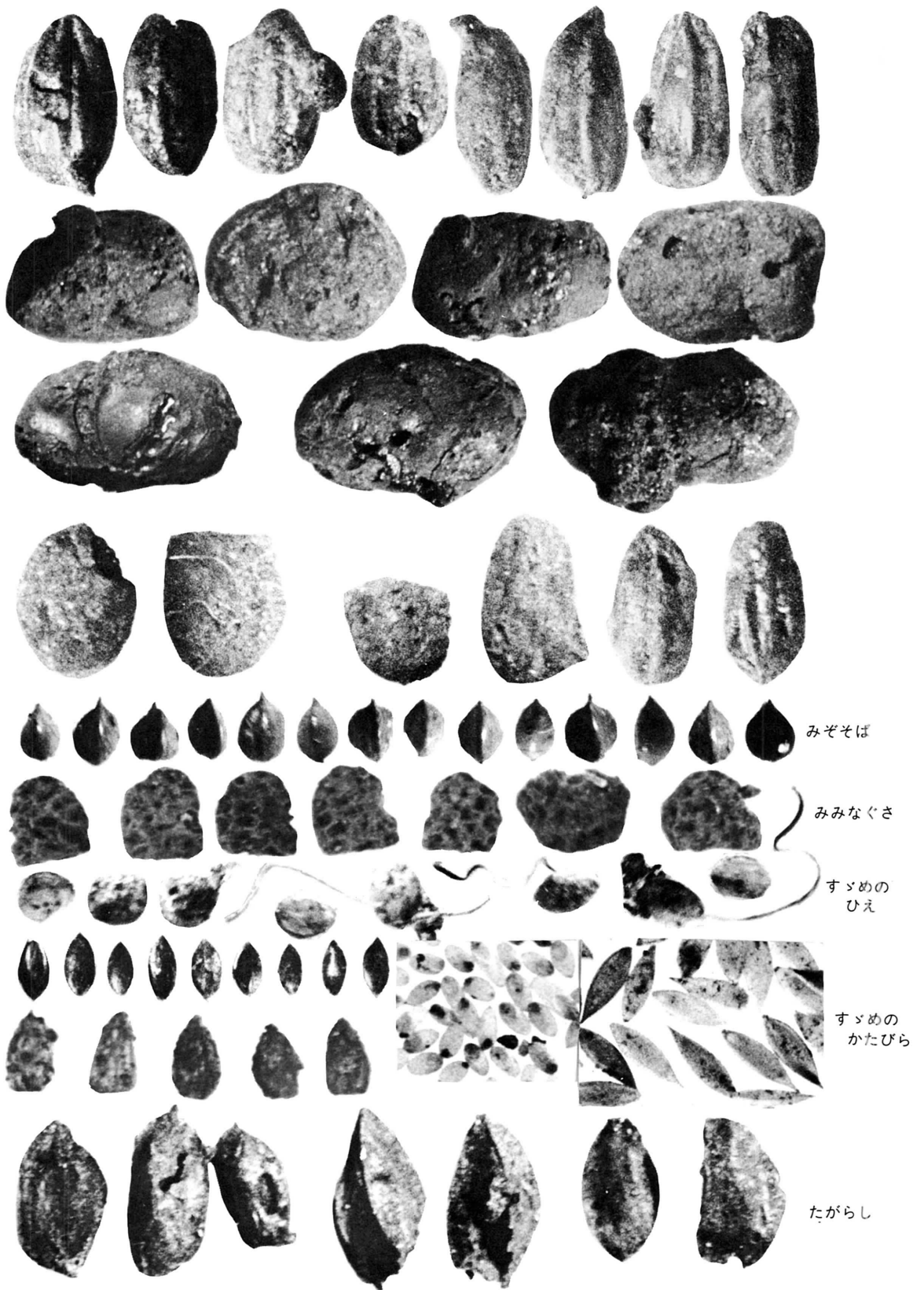
18 : 表採

19 · 20 : 3号建物跡出土鉄釘

縮尺不同



上4段は1号建物出土（上2段：米、3段：小豆、4段：葛の実、上左：小麦）
 5段以下は2号建物跡出土（5段：米、6段右4：小豆、左2：葛の実、下：イヌガラシ）
 拡大率不同、同段は同じ拡大率



上3段：3号建物出土（上1段：米、2・3段：葛の実）

4段以下：4号建物出土（4段右3：米、左3：葛の実、5段：計測表7・8、6段：計測表15・16、7段：計測表9・10、8段左：計測表18、9段左：計測表17、9段中：計測表11・12、右：その表皮、下段：計測表13・14）

図版10 炭化穀物粒・植物種子

岩手県教育委員会事務局文化課職員一覧

(埋蔵文化財関係)

文化課長	熊谷正男	臨時職員	藤原周子
課長補佐(総務)	鎌田良悦		後藤裕子
課長補佐(調査)	服部完郎		石田千鶴子
庶務係長	鈴木康之		村井隆
主事	鹿糠幸弘		小林史子
	佐藤伸一郎		村上良子
主任文化財主査	嶋千秋		小林三千江
文化財主査	菊地郁雄		菊地純子
技師	佐々木勝		鈴木優子
			赤坂恵子
			秋葉良子
			前田隆子
			田中ヒデ
			黒田あや子
			伊藤ふく
			及川容子
			長坂麗子
			中山久子
			(6月21日退職)
			佐々木信子
			(9月30日退職)
			高橋英子
			(10月16日退職)
臨時職員	木村キエ子		
	桜井芳彦		
	相星輝子		
	高橋生子		
	小西エイ子		
	漆原悦子		
	亀ヶ森恭子		

岩手県文化財調査報告書第56集
東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書 一 VII 一
(大地渡遺跡・野田遺跡・上台遺跡・南万丁目遺跡・古館遺跡)

昭和56年3月 発行

発行 (社) 岩手県文化財愛護協会
〒020 盛岡市内丸
岩手県立図書館内

印刷 川嶋印刷株式会社
〒021 一関市大槻街4-7
TEL 0191-23-2415
